

令和 2 年 度

事 業 報 告

日本赤十字社富山県支部

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

ごあいさつ

富山県民の皆様並びに地区分区をはじめとする関係者の皆様には、日頃から赤十字事業に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本赤十字社は、赤十字の基本原則である人道的使命に基づき、支援を期待する人々に広く博愛の手を届けるべく、国内外において様々な人道活動を積極的に展開しているところです。

さて、令和2年度は、世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が続き、現在も、社会・経済活動や人々の生活に深刻な影響を与えています。

日本赤十字社では、初期のダイヤモンド・プリンセス号への医療チームの派遣に始まり、その後の全国の赤十字病院における感染者の受入れや治療、感染症の予防啓発等に全力をあげて取り組んでおり、富山赤十字病院では、現在も、懸命に感染患者の治療にあたっております。血液事業につきましても、環境が厳しくなる中、安全安心な献血環境のPRや予約制の推進などにより、血液製剤の安定確保に努めております。さらに、新型コロナウイルス感染症は、病気としての危険に加え、「不安」や「恐れ」が「偏見」や「差別」を生む恐れがあることを早くから指摘し、これを防ぐ啓発活動を展開するなど、赤十字の使命である「いのちと健康、尊厳を守る」活動に全社をあげて取り組んでまいりました。

東日本大震災の発生から10年となりましたが、2月には福島県沖で震度6強の地震が発生しましたし、近年、台風や集中豪雨による災害が毎年のように発生しています。コロナ禍においても必要な災害救護活動ができるよう、装備や訓練の一層の充実に努めてまいります。その一環として、避難所の感染防止を図るため、県内の公立小学校に大型のサーキュレーターの整備を開始いたしました。

富山県支部におきましては、こうした活動のほか、中止、縮小を余儀なくされるものもありましたが、参加者の接触を伴わない形での救急法講習等の開催、ウェブを活用した会議や研修など様々な工夫をしながら、また、赤十字奉仕団や青少年赤十字活動、乳児院の運営等においては、感染防止に細心の注意を払いながら活動に取り組んでまいりました。

なお、富山赤十字看護専門学校は、この3月に閉校しましたが、126年にわたり3,554名の看護人材を輩出した歴史、伝統そして赤十字精神は、卒業生の心に生き続け、今後の赤十字活動の礎となるものと思います。

これらの赤十字事業の推進に必要な事業資金につきましては、社会経済情勢は増々厳しい状況にありますが、地区分区、自治振興会、町内会、奉仕団、有功会を始め、多くの県民の皆様方の一方ならぬご尽力によりまして目標を達成することができました。

ここに令和2年度の事業報告をお届けするにあたり、関係各位のご支援ご協力に重ねて感謝申し上げます。

日本赤十字社富山県支部では、今後とも、地域社会のニーズに即した赤十字活動を推進し、県民の皆様の期待に応えて参りたいと存じますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年5月

日本赤十字社富山県支部

支部長 新 田 八 朗

目 次

■ 新型コロナウイルス感染症による影響とその対応	1
1 評議員会等の開催	3
(1) 評議員会	3
(2) 監査	3
2 災害救護	4
(1) 令和2年7月豪雨	4
(2) 新型コロナウイルス	4
(3) 救護班等の編成と救護要員の研修	4
(4) 救護訓練	6
(5) 救護資材の整備	7
(6) 災害救援車の配備	8
(7) 救援物資の備蓄と交付	9
(8) 臨時救護	10
(9) 防災教育事業	10
(10) 海浜救護	12
(11) 救護資材の貸し出し	12
(12) 災害義援金・救援金受付状況	12
3 赤十字救急法等の講習	13
(1) 救急法	13
(2) 水上安全法	16
(3) 健康生活支援講習	18
(4) 幼児安全法	20
4 赤十字奉仕団	23
(1) 赤十字奉仕団結成状況	23
(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会役員	25
(3) 主な奉仕団関係行事	26
(4) 奉仕団活動内容	28
(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰	29
5 青少年赤十字	30
(1) 青少年赤十字加盟状況	31
(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員	33
(3) 講習会等の開催	33
(4) 青少年赤十字活動推進校	35
(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団	35
(6) 青少年赤十字指導講師	36
(7) 青少年赤十字防災教育事業	36
6 社会福祉活動	37
(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動	37
(2) 身体障害者への援護	37
7 救護看護師の養成	38
(1) 富山赤十字看護専門学校	38
(2) 日本赤十字豊田看護大学	38
8 国際活動	38

9 医療事業	40
(1) 富山赤十字病院	40
(2) 富山赤十字訪問看護ステーション	42
(3) 愛宕・安野屋地域包括支援センター	42
(4) 富山赤十字ケアプラン事業所	42
(5) 患者支援センター	42
10 血液事業	43
(1) 令和2年度実績の概要	43
(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査の変更	43
(3) 新型コロナウイルス感染予防対策	44
11 社会福祉事業	45
児童福祉施設	45
12 会員の増強と社資の確保	46
(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及	46
(2) 会員の増強	46
(3) 地区区分との協力体制の強化	47
(4) 企業とのパートナーシップ	47
(5) 社資功労感謝状伝達式	48
(6) 富山県赤十字有功会総会	48
(7) 全国赤十字大会	48
(8) 日赤紺綬・有功会会長協議会の総会	48
(9) 社資の募集実績	49
13 赤十字思想の普及	50
(1) 事業を通じての広報	50
(2) マスコミを通じての広報	51
(3) 刊行物等による広報	51
(4) 広報視聴覚資料一覧	52
14 支部・施設間の連絡調整	52
15 日本赤十字社富山県支部役員名簿	53
16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧	54
資料Ⅰ 地区区分別 活動状況	
17 救護装備品配備状況	56
18 令和2年度地区・分区救援物資分置状況	57
19 救援物資交付状況	58
20 令和2年度講習実績一覧表	59
21 赤十字奉仕団 活動一覧	62
資料Ⅱ 決算概要	
(1) 令和2年度一般会計歳入歳出決算説明書	74
(2) 令和2年度医療施設特別会計決算説明書	75
(3) 令和2年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書	77

■ 新型コロナウイルス感染症による影響とその対応

災害救護

令和2年7月豪雨災害では、新型コロナウイルス蔓延下での初の災害救護活動となり、感染拡大防止に努めながらの活動となった。

富山県支部では、避難所での感染症対策に向けた災害救護装備配備として富山県内179ヶ所の小学校（避難所）へ大型サーキュレーターを5ヶ年計画で配備することとした。

救護訓練では、訓練の開催中止や規模の縮小を行うとともに、訓練実施にあたっては感染防止対策を徹底した。

臨時救護・海浜救護・救護資材の貸し出しは、各種イベントが中止となり、例年より回数が減少した。

赤十字救急法等の講習

令和2年3月よりすべての講習の開催中止や開催延期を余儀なくされたが、受講者や指導員等の安全の確保と感染防止の徹底を大前提として、6月から接触を伴う実技を行わない講義形式による短期講習を再開した。10月からは全社統一の暫定措置による基礎講習を再開した。

赤十字奉仕団

奉仕団へ非接触型体温計を配備するなど、感染予防策を講じた上で、できる限りの活動を行った。

青少年赤十字

リーダーシップ・トレーニング・センターは開催中止となったが、各種会議等はWebを活用し開催に努めた。

社会福祉活動

マスクの着用、なるべく短時間の訪問とするなど感染防止に留意しながら、在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動を行った。

医療事業

4月初めより、帰国者・接触者外来を設置のうえ、行政PCR検査等を実施した。また、病院正面入口に発熱外来を設置し、院内感染防止のため、患者のトリアージを行った。

4月中旬から一病棟をコロナ患者専用病棟とし、コロナ患者を受け入れた。（5月下旬から受入れ体制を解除、その後もコロナ病床を一定数確保した。）

陰圧病室の改修工事や人工呼吸器、PCR検査機器などを整備した。

また、診察や検査手順についてマニュアルを作成しスタッフへの周知を行うとともに、診察や検査介助を直接行う医師、看護師は個人防護具の脱着訓練を行い感染防止に努めた。

県内の軽症者宿泊施設へ看護師を派遣した。

外来患者数・入院患者数は、いずれも前年度より減少している。

血液事業

検温と手指消毒など徹底した感染対策を行い「新しい生活様式」に基づいた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関へ協力を要請するなど、献血者の確保に取り組んだ。

献血実績は前年度に比べわずかに減少し、血液製剤の供給はわずかに増加した。

社会福祉事業

施設で預かる子どもへの感染を防止するため、職員の感染防止対策を徹底するとともに、「病児・病後児保育」、「ショートステイ」、「里親支援」などの事業活動やボランティア受入れについても、中止もしくは制限を行った。

会員の増強と社資の確保

緊急事態宣言等の状況に鑑み、例年5月に送付しているダイレクトメールを7月に変更して送付し、また改めて感謝の気持ちを表すべく、寄付をいただいた方に対し、お礼の電話をおかけした。

全国赤十字大会は中止となり、有功会及び日赤紺綬・有功会会長協議会の総会は文書審議で実施した。

社資については、病院への指定寄付金が増えたことにより、総額が増加した。

赤十字思想の普及

日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を、防災教育・奉仕団活動・青少年赤十字等の場面で活用し、感染予防や感染症によって生じる差別防止の啓発に取り組んだ。

1 評議員会等の開催

評議員会等の開催状況は、次のとおりであり、各議案異議なく承認された。

(1) 評 議 員 会

ア 第1回支部評議員会

(ア) 期 日 令和2年7月10日

(イ) 開催形態 文書審議

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和元年度支部事業報告について

第2号議案 令和元年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について

(エ) 報 告 令和元年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算について

(オ) そ の 他 富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院の近況について

イ 第2回支部評議員会

(ア) 期 日 令和3年2月26日

(イ) 開催形態 文書審議

(ウ) 審議議案

第1号議案 令和3年度支部事業計画について

第2号議案 令和3年度支部一般会計、医療施設特別会計及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算並びに血液事業計画について

第3号議案 役員の選出について

(エ) そ の 他 富山赤十字病院、受託富山県立乳児院の近況について

(2) 監 査

ア 期 日 令和2年6月23日

イ 場 所 富山赤十字病院

ウ 監査委員 舟橋 貴之、荒井 公夫

エ 監査内容 令和元年度日本赤十字社富山県支部、富山赤十字病院、富山県赤十字血液センター、受託富山県立乳児院における業務の運営及び支部一般会計、医療施設特別会計、社会福祉施設特別会計の歳入歳出決算に係る監査が行われた。

2 災 害 救 護

日本赤十字社は、災害救助法や災害対策基本法に基づき国が行う災害救助に協力することが義務づけられている。災害発生時には、その規模等に応じて各県支部、施設と連携して救護活動を行うとともに、日頃から、いつ、どのような災害が発生しても迅速に出動できるよう救護員の確保や救護訓練をはじめ、救護装備・資材の整備、救援物資の備蓄等を行っている。

(1) 令和2年7月豪雨

7月3日から8日にかけて、梅雨前線が九州付近を通り東日本にのび停滞し、活動が非常に活発となった。西日本や東日本で大雨となり大雨特別警報が発令され、熊本県で河川の氾濫や土砂災害が発生した。

日本赤十字社では、発災後直ちに熊本県支部に災害対策本部を設置し、医療救護班、日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア班の派遣や保健師支援など災害救護活動を展開した。

(2) 新型コロナウイルス

万一の災害発生に備え、派遣救護班要員の個人防護具を追加配備した。

また、県内で第1次的な避難所となる公立小学校を対象に、換気を目的とした直径1mの大型サーキュレーターを配備する事業を開始した。(5ヶ年で179ヶ所に配備する予定)

(3) 救護班等の編成と救護要員の研修

ア DMATの編成: (富山赤十字病院)

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	業 務 調整員	計
D M A T	2	4	7	4	17

イ 救護班の編成

要員 \ 区分	医 師	看護師長	看護師	主 事	自 動 車 操作要員	計
常 備 要 員	8	8	16	8	8	48

ウ 救護員登録状況

救護員区分	救 護 班 要 員						災害対策 本部要員	血液供給 要 員	合計
	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師			
支 部							10		10
病 院	43	19	314	16	26	7	15		440
血液センター			18				7	9	34
看護学校		1	6						7
合 計	43	20	338	16	26	7	32	9	491

エ コーディネートチーム

要員	区分	コーディネーター	コーディネートスタッフ	計
コーディネートチーム		1	4	5

オ 救護要員の研修

No.	期 日	研修会名	研修会場	対象者	参加人数	主催
1	8月21日(金)	救護班要員研修会	日赤看護専門学校	常備救護班要員	8	日赤富山県支部

(4) 救 護 訓 練

災害発生に際し最も迅速を要する被災者の医療救護、搬送、通信、医薬品輸送などの技術的な向上を図るため、毎年、各種の訓練を実施するとともに、県、市町村等が行う防災訓練に積極的に参加している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、訓練の開催中止や規模の縮小となるものもあったが、訓練実施にあたっては感染防止対策を徹底した。

期 日	訓練名	訓練場所	訓練内容	参加者
6月12日(金)	支部・施設合同災害救護訓練	日赤看護専門学校 桜づつみ緑地公園	救護資機材運用 救護所設営 担架搬送 炊き出し 医療救護	開催中止
8月26日(水)	支部災害対策本部設置訓練	日赤富山県支部	災害対策本部運用	支部 10
8月30日(日)	射水市総合防災訓練	射水市	救急法指導	規模縮小開催のため派遣中止
8月30日(日)	富山県総合防災訓練	滑川市総合体育センター	合同調整所会議	支部 1 規模縮小開催
9月11日(金)	富山空港総合消火救難訓練	富山空港	医療救護	病院 5 支部 1
10月3日(土)	富山市総合防災訓練	富山市	医療救護	規模縮小開催のため派遣中止
10月29日(木)	富山県国民保護共同実働訓練	富山県西部体育センター	図上訓練	病院 5 支部 2
10月31日(土) 11月1日(日)	中部ブロックDMAT実働訓練	山梨県	医療救護	開催中止
11月7日(土) 8日(日)	日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練	長野県諏訪市	医療救護 Cot運用 災害対策本部運用 救護班集結 通信情報収集 他機関協働訓練	開催中止
11月11日(水)	富山赤十字病院災害訓練	富山赤十字病院	図上訓練	病院 30



(5) 救護資材の整備

品 目		数 量		品 目	数 量
救	急 車	1台		浄 水 器	1台
救	援 車	6台		テ ン ト	10張
衛	星 電 話	4台		ド ラ ッ シ ュ テ ン ト	2張
業務無線	基 地 局	2基		ワ ン タ ッ チ テ ン ト	4張
	移 動 局	16台		エ ア テ ン ト	2張
	携 帯 型 移 動 局	22台		折 畳 寝 台	31台
短波無線（アマ無線）		1基		担 架	15台
NBC（災害除染セット）		1セット		担 架 架 台	6台
発	電 機	5台		移 動 組 立 式 炊 飯 器	13基
投	光 器	4台		医 療 セ ッ ト	3セット
患 者	用 毛 布	60枚		携 帯 型 医 療 セ ッ ト	2セット
携 帯	ラ ジ オ	5台		初 動 用 医 療 セ ッ ト	1セット
医 療	用 作 業 台	5台		ボ ラ ン テ ィ ア ベ ス ト	50着
救護班用放射線防護資材		14セット		通 信 用 パ ソ コ ン セ ッ ト	2セット
救 命	胴 衣	15着		モ バ イ ル W i F i ル ー タ ー	1台
A	E D	4台		携 帯 電 話	1台

(6) 災害救援車の配備

災害救護活動の円滑化を図るため、昭和60年度から順次管内地区区分へ災害救援車を配備している。

○救援車両一覧

配備先 (常置場所)	車両の種別	車種 (名称)	製造会社名	取得年月日	登録番号
日赤富山市地区	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3315
日赤富山市地区 (大沢野・細入)	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H25. 6. 24	富山580は3316
日赤富山市地区 (大山)	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 21	富山400た1862
日赤富山市地区 (八尾)	災害救援車	NV100クリッパー	ニッサン	H27. 7. 10	富山480け9018
日赤富山市地区 (婦中・山田)	災害救援車	エブリイワゴン	スズキ	H26. 7. 23	富山580は9233
日赤高岡市地区	災害救援車	N V200バネット	ニッサン	H29. 7. 24	富山800す3607
日赤高岡市地区 (福岡)	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H17. 9. 15	富山400そ4163
日赤魚津市地区	災害救援車	レガシーワゴン	スバル	H14. 5. 29	富山500は9410
日赤水見市地区	災害救援車	アルト	スズキ	H30. 11. 15	富山581え5499
日赤滑川市地区	災害救援車	エブリイPCハイルーフ	スズキ	R 1. 6. 5	富山480す3732
日赤黒部市地区	災害救援車	プロボックスワゴン	トヨタ	H20. 5. 20	富山501て8079
日赤黒部市地区 (宇奈月)	災害救援車	サクシードワゴン	トヨタ	H24. 6. 29	富山501は4815
日赤砺波市地区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H19. 6. 27	富山400た1932
日赤砺波市地区 (庄川)	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H20. 5. 30	富山400た5252
日赤小矢部市地区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H28. 8. 26	富山400て253
日赤南砺市地区 (城端)	災害救援車	プロボックスワゴン	トヨタ	H19. 9. 14	富山501ち9612
日赤南砺市地区 (平)	災害救援車	エブリイバン	スズキ	H22. 8. 25	富山480か5312
日赤南砺市地区 (上平)	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H26. 7. 28	富山501も840
日赤南砺市地区 (利賀)	災害救援車	ラッシュX	トヨタ	H25. 7. 19	富山501み8480
日赤南砺市地区 (井波)	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H24. 8. 23	富山400ち7281
日赤南砺市地区 (井口)	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H21. 12. 2	富山400た9519
日赤南砺市地区 (福野)	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	H28. 7. 28	富山480こ5651
日赤南砺市地区 (福光)	災害救援車	タント	ダイハツ	H30. 7. 30	富山581え7353
日赤射水市地区 (新湊)	災害救援車	ステラ	スバル	H22. 5. 21	富山580ち7485
日赤射水市地区 (大島)	災害救援車	ミライース	ダイハツ	H26. 6. 19	富山580は6497
日赤射水市地区 (小杉)	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H18. 5. 31	富山501せ5005
日赤射水市地区 (大門)	災害救援車	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	R 3. 1. 29	富山480せ3304
日赤射水市地区 (下)	災害救援車	ウイングロード	トヨタ	H19. 11. 30	富山530の8100
日赤入善町分区	災害救援車	プロボックスバン	トヨタ	H29. 7. 6	富山400て3007
日赤朝日町分区	災害救援車	A Dバン	ニッサン	H29. 6. 5	富山400て2713
日赤舟橋村分区	災害救援車	カローラフィールダー	トヨタ	H21. 4. 14	富山501な9684
日赤上市町分区	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H26. 9. 30	富山501も4274
日赤富山県支部	災害救援車	サファリ	ニッサン	H12. 3. 28	富山300せ7955
日赤富山県支部	災害救援車	ウイングロード	ニッサン	H16. 9. 30	富山500や683
日赤富山県支部	災害救援車	タント	ダイハツ	H19. 11. 22	富山580け8791
日赤富山県支部	救援トラック	キャンター	三菱	H25. 3. 21	富山100す7583
日赤富山県支部	災害通信指令車	アルファード	トヨタ	H25. 3. 22	富山300さ7865
日赤富山県支部	救 急 車	ハイエース	トヨタ	H25. 3. 26	富山800す1288
日赤富山県支部	災害救援車	フィット	ホンダ	R 2. 3. 10	富山502と391

(7) 救援物資の備蓄と交付

県内において発生した火災・水害その他災害の被災者へ迅速に救援物資が交付できるように、日頃から備蓄、地区分区への分置を行っている。

○災害救援物資備蓄状況

品 名	前年度末現在	取 得	払 出	令和2年度末現在
毛 布 (ケ イ リ ン)	1,453	150	77	1,526
綿 毛 布	268	0	24	244
緊 急 セ ッ ト	965	60	28	997
安 眠 セ ッ ト	354	0	0	354
鍋 ・ や か ん セ ッ ト	143	0	22	121
ポ ッ ト	17	0	1	16
カ セ ッ ト コ ン ロ	109	0	22	87
タ オ ル	7,466	0	602	6,864
石 鹼	367	0	10	357
タ オ ル ケ ッ ト	0	300	0	300

○災害救援物資等交付基準

区 分		救 援 物 資
災 害 程 度	全 焼 壊 失	1人につき 毛 布 4月～5月、10月 1枚 11月～3月 2枚 綿 毛 布 6月～9月 1枚 タ オ ル 10本 1世帯につき 緊急セット 1～4人 1個 5人以上 2個 カセットコンロ 1台 (ガスボンベ3本付) 鍋セット又はポット 1台
	床 上 浸 水	1世帯につき 緊急セット 1個 タ オ ル 30本 石 鹼 1箱
弔 慰 金		自然災害および火災による死亡者 1 人 10,000円

- 1 この基準は、平成20年4月1日から実施する。
- 2 大規模災害については実情に応じて行うものとし、この基準にはよらないものとする。
- 3 この基準は、非住家には適用しない。
- 4 災害による死亡者があった場合は、世帯構成人員から死亡者を除いた基準で交付する。
(但し、配分の際に生死が不明の場合はこの限りではない)

地区区分別災害救援物資及び弔慰金交付状況

地区 区分名	世帯数	人数	毛布	綿毛布	緊急 セット	タオル	鍋セット	ポット	カセット コンロ	安眠 セット	石 鹸	弔慰金	
												件数	金額
富山市	7	9	4	4	4	40	2	1	4			2	20,000
高岡市	2	4	2	2	2	10	2		2			1	10,000
魚津市													
氷見市	3	10	10		2	70	2		2			3	30,000
滑川市													
黒部市	2	2	4	2	1	20	1		1				
砺波市	3	6	4	3	3	60	3		3			1	10,000
小矢部市	1	1										1	10,000
南砺市	6	10	13	2	5	90	5		5			1	10,000
射水市	12	25	30	11	9	148	5		3		4		
入善町													
朝日町	1	1	2		1	10	1		1				
舟橋村													
上市町	1	3	6		1	30	1		1				
立山町													
その他			2			124					6		
合計	38	71	77	24	28	602	22	1	22	0	10	9	90,000

※その他は劣化等により処分したもの。

(8) 臨時救護

地方公共団体、地区区分等の要請により救護員を派遣し、参集者の安全を図った。

なお、アルコール消毒・マスク等を装備し、コロナ感染予防対策をとった。

No.	期日	派遣行事名等	日数	救護 員数	取扱傷 病者数
1	4／25	富山縣護國神社春季例大祭	※開催中止		
2	9／20	富山城フェス	1	2	0
3	10／5	富山縣護國神社秋季例大祭	1	2	0
合 計			2	4	0

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(9) 防災教育事業

地域のニーズに合わせて災害への備え、防災・減災に関する講習会を開催してきた。日本赤十字社防災教育事業指導者を養成し、大規模災害の危険性に対し、地域の「自助」「共助」の力を高めるため、地域コミュニティでの防災教育に力を入れている。また、新型コロナウイルス感染状況下において、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」等を活用し、新型コロナウイルス感染予防や差別防止の啓発に取り組んだ。

講習項目

災害への備え	防災や減災の考え方、地震・津波・風水害がもたらす様々な被害から、平時の備えの重要性を理解する。
災害エスノグラフィー	被災した人々の視点で書き留められた読み物から、災害を迫体験し、被災状況をイメージする。
災害図上訓練（DIG）	地域の防災マップの作成を通じ、防災上の資源や危険性を把握し個人や地域の防災意識を高める。
応急手当	身近なものを用いた応急手当、救急法、災害時高齢者健康生活支援等を学ぶ。

防災啓発プログラム実施状況

	期日	地区名	実施場所	対 象	受講数	講習項目
1	6 / 19	富山市	富山いずみ高校	生徒・教職員	32	災害時のこころのケア
2	6 / 24	黒部市	中央公民館	地域住民	29	災害備え・減災
3	8 / 27	氷見市	日赤富山県支部	奉仕団員	10	災害備え・講演
4	9 / 16	富山市	雄峰高校	生徒・教職員	50	災害備え・減災
5	9 / 26	富山市	蜷川小学校	地域住民	70	災害備え・スリッパ
6	10 / 4	富山市	婦中熊野公民館	地域住民	30	災害備え・減災
7	10 / 9	氷見市	十三中学校	生徒・教職員	95	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
8	10 / 14	南砺市	福光福祉会館	奉仕団員	27	災害備え・減災
9	10 / 22	黒部市	YKK50ビル	社員	40	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
10	11 / 10	富山市	熊野小学校	生徒・教職員	92	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
11	11 / 13	高岡市	戸出中学校	生徒・教職員	100	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
12	11 / 15	射水市	クロスベイ新湊	地域住民	48	災害備え・講演
13	11 / 20	富山市	水橋高校	生徒・教職員	18	災害備え・講演
14	11 / 27	高岡市	木津公民館	地域住民	35	災害備え・減災
15	11 / 29	南砺市	広瀬館交流センター	地域住民	28	災害備え・減災
16	11 / 30	富山市	富山いずみ高校	教職員	34	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
17	12 / 5	立山町	利田公民館	生徒・教職員・住民	54	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
18	12 / 5	南砺市	福野体育館	奉仕団員	34	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
19	12 / 6	立山町	下段公民館	地域住民	48	災害備え・減災
20	12 / 8	富山市	富山いずみ高校	生徒・教職員	28	災害備え・減災
21	12 / 9	富山市	古沢公民館	地域住民	15	災害備え・減災
22	12 / 12	高岡市	西五位公民館	奉仕団員	25	災害備え・新型コロナ
23	12 / 23	射水市	射北中学校	生徒・教職員	232	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
24	2 / 22	上市町	保健福祉総合センター	地域住民	50	新型コロナウイルス感染症に対する知識及び対処法
合 計					1224	

(10) 海 浜 救 護

県内5ヵ所の海水浴場の臨時海浜救護所へ応急手当用品を配付し、海水浴場利用者の安全を図った。

市 町 村	救護所名	開設日数	取扱傷病者数
富 山 市	八 重 津 浜	8	5
高 岡 市	松 太 枝 浜	12	9
氷 見 市	島 尾 浜	21	3
黒 部 市	石 田 浜	24	2
朝 日 町	宮 崎 浜	3	0
計		68	19

(11) 救護資材の貸し出し

支部が保有する炊き出し大鍋セットやAED（自動体外式除細動器）を県内各地で開催される自治会等主催の防災訓練や各種イベントに対して無料貸し出しを行っている。

炊き出し大鍋セットは令和元年度12回27セットの貸し出し実績があった。また、AEDは令和2年度中45回の貸し出しを予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響のため防災訓練等の各種イベントが中止となり、貸し出しは低調であった。

令和2年度の貸し出し実績

ア 炊き出し大鍋セット 2回 5セット

イ AED 3回

(12) 災害義援金・救援金受付状況

(単位：円)

目 的	件 数	金 額	送 金 先
東日本大震災義援金（令和2年度受付分） （こ れ ま で の 累 計）	45件 (35,522件)	2,568,849円 (2,756,201,636円)	日本赤十字社
平成28年熊本地震災害義援金(令和2年度受付分) （こ れ ま で の 累 計）	13件 (1,407件)	79,623円 (191,373,341円)	日本赤十字社
平成29年7月5日から的大雨災害義援金	1件	5,000円	日本赤十字社
平成30年7月豪雨災害義援金	4件	106,103円	日本赤十字社
令和元年台風第19号災害義援金	50件	478,865円	日本赤十字社
令和2年7月豪雨災害義援金	50件	3,766,702円	日本赤十字社
中東人道危機救援金	2件	60,000円	日本赤十字社
バン格拉デシュ南部避難民救援金	1件	20,000円	日本赤十字社
令和2年度NHK海外たすけあい救援金	648件	4,697,475円	日本赤十字社
合 計	814件	11,782,617円	

※郵便振替を利用し、日赤本社や被災地支部に直接送金された件数・金額は含まない。

3 赤十字救急法等の講習

(1) 救 急 法

自らの健康安全と不慮の事故や災害で急病人やケガ人が出たとき、それ以上悪化させないように応急手当を施し、医師に引き渡すことができるように、知識と技術を学ぶもので、自然災害や交通事故等への対応を身につける必要性が重視されてきている。例年、地区分区、企業その他の団体の要請に対し救急法指導員の資格を有するボランティア等を派遣し、それぞれの事業所等で講習を実施するほか、支部において一般対象の講習を開催している。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言の影響のため前年度3月よりすべての講習を中止又は延期した。受講者や指導員等の安全の確保と感染防止の徹底を大前提として、6月から接触を伴う実技を行わない講義形式による短期講習を再開した。10月からは全社統一の暫定措置による基礎講習及び実技講習を再開した。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
救急法救急員養成講習	急病の手当、けがの手当（止血法、包帯法、固定法）、運搬及び救護	12時間
救 急 法 基 礎 講 習	傷病者の観察の仕方及び一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去）等救急法の基礎	4 時間
救 急 法 短 期 講 習	救急法基礎講習及び救急法救急員養成講習の内容の一部	必要とする時間

- (1)救急法基礎講習の受講資格は、満15歳以上の者
 (2)救急法救急員養成講習の受講資格は、救急法基礎講習修了者
 (3)検定（学科・実技）合格者には救急法基礎講習は「修了証」を救急法救急員養成講習は「認定証」を交付する。

救急法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
	4 / 19	射水市	日の宮集会所	町内会員	開催中止（※1）
	4 / 20	富山市	市総合体育館	新人職員	開催中止（※1）
	4 / 22	富山市	富山大学附属中学校	教職員	開催延期（※1）
	5 / 11	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	開催延期（※1）
	5 / 17	立山町	立山青少年自然の家	大学生	開催中止（※1）
	5 / 29	富山市	豊田小学校	教職員・PTA	開催延期（※1）

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
	6 / 1	高岡市	木津小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 1	富山市	水橋中部小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 1	高岡市	横田小学校	教職員	開催延期 (※1)
	6 / 2	富山市	呉羽小学校	教職員・PTA	開催延期 (※1)
	6 / 3	富山市	速星公民館	富山市教委教員	開催中止 (※1)
	6 / 4	富山市	県総合教育センター	新採養護教諭	開催中止 (※1)
	6 / 5	高岡市	万葉小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 8	富山市	安全衛生教育センター	衛生管理受講者	開催中止 (※1)
	6 / 8	高岡市	能町小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 8	高岡市	牧野小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 9	富山市	速星公民館	富山市養護教諭	開催中止 (※1)
	6 / 10	富山市	速星小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 11	富山市	速星公民館	富山市養護教諭	開催中止 (※1)
	6 / 15	富山市	太田小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 15	富山市	神保小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 15	富山市	藤ノ木小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 16	富山市	上条小学校	教職員	開催延期 (※1)
	6 / 16	富山市	古沢小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 17	富山市	八幡小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 17	富山市	浜黒崎小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 17	舟橋村	舟橋小学校	教職員	開催延期 (※1)
	6 / 19	富山市	倉垣小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 19	富山市	富山大学附属中学校	教職員	開催延期 (※1)
	6 / 21	富山市	老田小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 23	富山市	豊田小学校	教職員・PTA	開催中止 (※1)
	6 / 24	富山市	萩浦小学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 28	高岡市	小勢公民館	奉仕団・町内会員	開催延期 (※1)
	6 / 28	富山市	長岡小学校	PTA	開催中止 (※1)
	6 / 29	高岡市	南星中学校	教職員	開催中止 (※1)
	6 / 29	富山市	針原小学校	教職員	開催中止 (※1)
	7 / 7	富山市	速星公民館	市教委プール監視員	開催中止 (※1)
	7 / 8	滑川市	北加積小学校	PTA	開催中止 (※1)
	7 / 21	富山市	しらとり支援学校	教職員	開催延期 (※1)
	7 / 22	富山市	安全衛生教育センター	酸欠作業主任受講者	派遣中止 (※1)
	7 / 27	富山市	高志支援学校	教職員	開催延期 (※1)
	7 / 29	富山市	富山高校	教職員	開催中止 (※1)
	8 / 7	富山市	上滝中学校	教職員	開催中止 (※1)
	9 / 9	富山市	安全衛生教育センター	酸欠作業主任受講者	派遣中止 (※1)
	10 / 14	富山市	安全衛生教育センター	酸欠作業主任受講者	派遣中止 (※1)
	10 / 25	高岡市	小勢公民館	奉仕団・町内会員	開催中止 (※1)
	11 / 11	富山市	安全衛生教育センター	酸欠作業主任受講者	派遣中止 (※1)
	11 / 28	富山市	県陸上競技場	体育施設管理者	開催延期 (※1)
	1 / 14	小矢部市	くりからの里	職員	開催中止 (※2)
	1 / 20	富山市	安全衛生教育センター	酸欠作業主任受講者	派遣中止 (※1)

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
1	6 / 4	富山市	山室中部小学校	教職員	13
2	6 / 15	高岡市	横田小学校	教職員	14
3	6 / 17	富山市	堀川小学校	教職員	30
4	6 / 18	富山市	光陽小学校	教職員	30
5	6 / 24	富山市	檜尾小学校	教職員	10
6	6 / 24	富山市	寒江小学校	教職員	15
7	6 / 25	富山市	新庄北小学校	教職員	30
8	6 / 25	富山市	柳町小学校	教職員	14
9	6 / 26	富山市	呉羽小学校	教職員・PTA	14
10	7 / 1	舟橋村	舟橋小学校	教職員	18
11	7 / 2	立山町	林業普及センター	森林組合員	12
12	7 / 13	富山市	大庄小学校	教職員	17
13	7 / 16	富山市	富山いずみ高校	生徒	10
14	7 / 28	富山市	富山いずみ高校	生徒	33
15	8 / 3	富山市	高志支援学校	教職員	25
16	8 / 3	富山市	しらとり支援学校	教職員	20
17	8 / 19	富山市	昭和電工セラミックス富山工場	職員	60
18	8 / 24	富山市	興南中学校	教職員	14
19	8 / 29	富山市	県総合情報センター	森林組合員	41
20	9 / 4	高岡市	高岡向陵高校	生徒・教職員	38
21	9 / 6	富山市	県教育文化会館	県児童クラブ指導員	15
22	10 / 4	富山市	県自然博物園ねいの里	捕獲従事者	22
23	10 / 6	富山市	富山大学附属中学校	教職員	42
24	10 / 16	富山市	富士薬品	職員	10
25	10 / 22	富山市	富士薬品	職員	11
26	10 / 27	高岡市	富山県生協西部センター	組合員	7
27	10 / 30	富山市	富山県生協富山センター	組合員	16
28	11 / 9	滑川市	富山県生協東部センター	組合員	8
29	11 / 10	富山市	三成中学校	生徒	47
30	11 / 20	富山市	上条小学校	教職員	9
31	11 / 23	富山市	県総合体育センター	水泳指導員	25
32	12 / 6	富山市	県陸上競技場	体育施設管理者	18
33	12 / 8	富山市	ウィンディ	職員	42
34	3 / 9	富山市	赤十字血液センター	職員	18
35	3 / 9	富山市	マリエ献血ルーム	職員	5
36	3 / 10	富山市	赤十字血液センター	職員	17
37	3 / 10	富山市	マリエ献血ルーム	職員	5
38	3 / 18	富山市	富士薬品	職員	30
合計					805

※ 1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催または派遣中止、開催延期

※ 2 大雪のため開催中止

○ 救急員養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
	4 / 21～22		富山市	富山県警察学校	警察官	開催中止（※）
	5 / 2～9		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	8 / 20～21		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	10 / 17～18		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	12 / 19～20		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	2 / 18～19		富山市	県総合体育センター	一般	開催中止（※）
	3 / 14～21		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
合 計		0				0

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○ 基礎講習

No.	期 日	日数	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
	4 / 20		富山市	富山県警察学校	警察官	開催中止（※）
	4 / 25		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
	5 / 19		富山市	富山県消防学校	消防初任科生・一般	開催中止（※）
	8 / 19		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止（※）
1	10 / 10	1	富山市	日赤富山県支部	一般	8
2	12 / 13	1	富山市	日赤富山県支部	一般	11
3	2 / 17	1	富山市	日赤富山県支部	一般	13
4	3 / 7	1	富山市	日赤富山県支部	一般	9
合 計		4				41

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(2) 水 上 安 全 法

水の事故といえば、すぐにプールや海水浴を思い浮かべるが、水による事故のほとんどは水泳中以外に発生している。水上安全法の目的は、尊い命を水の事故から守るために、主として事故防止と自己保全、そして溺れた人を安全に救助する方法を習得することにある。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、救助員Ⅰ養成講習の開催を中止し、7月より接触を伴わない様式での短期講習を実施した。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
水上安全法救助員Ⅰ養成講習	水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	14時間
水上安全法救助員Ⅱ養成講習	海、河川及び湖沼での事故防止、泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助及び応急手当	12時間
水上安全法短期講習	水上安全法救助員Ⅰ及び水上安全法救助員Ⅱの内容の一部	必要とする時間

- (1)水上安全法救助員Ⅰ養成講習の受講資格は、満15歳以上の救急法基礎講習修了者で、一定の泳力を有すること。
 (2)水上安全法救助員Ⅱ養成講習の受講資格は、水上安全法救助員Ⅰの資格を有すること。
 (3)検定（学科・実技）合格者には水上安全法救助員Ⅰ、Ⅱの「認定証」を交付する。

水上安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象 者	受講人数
	4 / 5	富山市	市民プール	水泳指導員	開催中止（※）
	6 / 25	富山市	東富山温水プール	施設職員	開催中止（※）
	6 / 28	富山市	長岡小学校	児童	開催中止（※）
1	7 / 2～3	富山市	県総合体育センター	消防初任科生	39
2	7 / 13	富山市	市民プール	施設職員	49
3	10 / 26	富山市	市民プール	施設職員	45
4	10 / 27	砺波市	砺波市温水プール	施設職員	9
5	2 / 26	富山市	東富山温水プール	施設職員	16
合計					158

○救助員Ⅰ養成講習

No.	期 日	日数	市町村	実施場所	対象者	受講人数
	5 / 20～22		富山市	県総合体育センター	消防初任科生・一般	開催中止（※）
	1 / 19～21		富山市	市民プール	一般	開催中止（※）
合計		0				0

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

(3) 健康生活支援講習

誰もが高齢期を健やかに過ごせるよう、必要な健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向けて、役立つ介護支援技術を習得することを目的に実施した。

「災害時高齢者生活支援講習」や「地域で支える認知症講習」を短期講習として開催し、1人でも多くの人が高齢者や認知症の人、その家族の支援者となり、安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待している。

講習科目及び時間

講習区分	講習科目	講習時間
健康生活支援講習 支援員養成講習	1 高齢者の健康と安全のために 2 地域における高齢者支援に役立つ知識と技術 3 日常生活の具体的な介護の知識と技術	12時間
災害時高齢者生活支援講習 (短期講習)	1 災害について 2 災害が高齢者に及ぼす影響 3 接するときのこころづかい 4 気をつけたい病気や症状 5 知って役立つ技術 6 ボランティアの心得	2時間
地域で支える認知症 (短期講習)	1 認知症とは 2 認知症の主な症状 3 認知症の人への対応 4 予防と早期発見 5 家族の理解と支援 6 地域で支えるために	1.5時間
健康生活支援講習短期講習	支援員養成科目から一部抽出	必要とする時間

(1)健康生活支援講習支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者

(2)学科検定合格者には「認定証」を交付する。

健康生活支援講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
1	7 / 22	高 岡 市	伏木高校	生徒	12
2	8 / 3	富 山 市	雄峰高校	生徒	12
3	9 / 17	射 水 市	足洗公民館	地域住民	21
4	10 / 3	富 山 市	健保連富山連合会	一般・職員	51
5	11 / 14	富 山 市	日赤富山県支部	ガールスカウトリーダー	11
6	12 / 2	射 水 市	第一イン新湊	ライオンズクラブ会員	30
合 計					137

○災害時高齢者生活支援講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
	4 / 12	入 善 町	うるおい館	入善町赤十字奉仕団	開催中止(※1)
	4 / 18	富 山 市	日赤富山県支部	ともしび奉仕団	開催中止(※1)
	4 / 21	富 山 市	日赤富山県支部	奉仕団支部委員会	開催中止(※1)
	4 / 24	富 山 市	山室地区センター	山室奉仕団	開催中止(※1)
	6 / 26	富 山 市	長岡公民館	地域住民	開催中止(※1)
	7 / 1	富 山 市	県総合体育センター	養護教諭	開催中止(※1)
	9 / 18	魚 津 市	西布施交流館	地域住民	開催中止(※1)
1	6 / 17	富 山 市	富山いずみ高校	生徒	32
2	12 / 11	富 山 市	婦中町西保健福祉センター	婦中赤十字奉仕団員	32
3	2 / 17	富 山 市	八尾コミュニティーセンター	八尾町赤十字奉仕団員	25
4	2 / 19	富 山 市	四方公民館	四方赤十字奉仕団員・住民	26
5	2 / 25	富 山 市	日赤富山県支部	新庄北赤十字奉仕団員	25
6	3 / 26	砺 波 市	砺波市役所	砺波市赤十字奉仕団員	80
合 計					220

○「地域で支える認知症」講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
	4 / 19	氷 見 市	いきいき元気館	朝日丘赤十字奉仕団員	開催中止(※1)
1	6 / 13	高 岡 市	西五位公民館	福岡町赤十字奉仕団員	45
2	7 / 29	小矢部市	総合保険福祉センター	小矢部市赤十字奉仕団員	32
合 計					77

○支援員養成講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講数
1	5 / 7～8	富 山 市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※1)
2	7 / 4～5	富 山 市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※1)
3	1 / 29～30	富 山 市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※1)

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため派遣中止、開催延期

(4) 幼 児 安 全 法

子どもが家庭や地域で安全に健やかに育っていくように、子どもに起こりやすい事故の防止と手当ての方法、家庭内での看病の方法や災害時の乳幼児支援など、地域生活の中で役立つ知識や技術を学ぶものであり、次のとおり実施した。

少子化の下で本講習を契機に社会全体で子どもを育てていくという機運を高めるため、更なる普及に努める。

講習科目及び時間

講 習 区 分	講 習 科 目	講習時間
幼児安全法 支援員養成講習	1 赤十字幼児安全法について 2 子どもの成長発達と事故予防 3 子どもの応急手当 4 子どもの病気と看病の仕方 5 地域の子育て支援 ～社会全体で子どもを大切に育てるために～	12時間
幼児安全法短期講習	支援員養成講習の科目から一部抽出	必要とする時間

(1)幼児安全法支援員養成講習の受講資格は、満15歳以上の者

(2)検定（学科・実技）合格者には「認定証」を交付する。

幼児安全法講習実施状況

○短期講習

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
	5 / 22	立山町	釜ヶ淵公民館	親子サークル・スタッフ	開催中止(※1)
	6 / 3	富山市	子育て支援センター	ファミリーサポート会員・職員	開催中止(※1)
	6 / 9	富山市	水橋児童館	保護者・職員	開催中止(※1)
	6 / 17	富山市	恵光学園	職員	開催中止(※1)
	6 / 22	富山市	藤ノ木公民館	ファミリーサポート会員・職員	開催中止(※1)
	6 / 24	立山町	下段公民館	親子サークル・スタッフ	開催中止(※1)
	7 / 1	富山市	婦中ふれあい館	ファミリーサポート会員・職員	開催中止(※1)
	7 / 10	氷見市	余川谷農業研修館	親子サークル・スタッフ	開催中止(※1)
	8 / 20	富山市	八尾健康福祉総合センター	親子サークル・職員	開催中止(※1)
	9 / 2	富山市	子育て支援センター	親子サークル・職員	開催中止(※1)
	9 / 24	富山市	富山赤十字看護専門学校	親子サークル・職員	開催中止(※1)
1	7 / 17	氷見市	いきいき元気館	保護者・スタッフ	14
2	7 / 28	富山市	岩瀬公民館	ファミリーサポート会員・職員	7
3	7 / 30	富山市	奥田公民館	シルバー人材センター会員・職員	15
4	8 / 11	富山市	西田地方公民館	ファミリーサポート会員・職員	7
5	8 / 19	富山市	新庄保育所	親子サークル・職員	5
6	8 / 25	富山市	大久保ふれあいセンター	ファミリーサポート会員・職員	5

No.	期 日	市町村	実 施 場 所	対 象	受講者数
7	8 / 27	富山市	子育て支援センター	ファミリーサポート会員・職員	23
8	8 / 28	滑川市	滑川市民交流プラザ	シルバー人材センター会員・職員	8
9	9 / 4	富山市	子育て支援センター	ファミリーサポート会員・職員	6
10	9 / 23	富山市	くまのこども園	親子サークル・職員	10
11	9 / 24	富山市	新庄北公民館	ファミリーサポート会員・職員	7
12	9 / 25	高岡市	ふれあい福祉センター	シルバー人材センター会員・職員	11
13	10 / 2	魚津市	つばめ児童センター	親子サークル・職員	8
14	10 / 5	富山市	新保公民館	ファミリーサポート会員・職員	12
15	10 / 6	高岡市	こどものその	親子サークル・職員	10
16	10 / 9	氷見市	海清保育園	親子サークル・職員	6
17	10 / 25	富山市	婦中ふれあい館	ファミリーサポート会員・職員	12
18	10 / 30	魚津市	すずめ児童センター	親子サークル・職員	9
19	11 / 5	砺波市	出町児童センター	児童厚生員・職員	10
20	11 / 6	立山町	釜ヶ淵公民館	親子サークル・スタッフ	7
21	11 / 7	富山市	西田地方保育園	職員	32
22	11 / 10	富山市	青い鳥保育園	職員	19
23	11 / 17	氷見市	キッズサポートなないろ	親子サークル・職員	16
24	11 / 18	富山市	恵光学園	保護者・職員	32
25	11 / 26	富山市	県総合教育センター	新規採用教員	41
26	12 / 9	射水市	救急薬品市民交流プラザ	ファミリーサポート会員・職員	17
27	12 / 10	魚津市	つばめ児童センター	ファミリーサポート会員・職員	8
28	12 / 12	射水市	救急薬品市民交流プラザ	ファミリーサポート会員・職員	11
29	12 / 16	氷見市	いきいき元気館	保護者・スタッフ	12
30	12 / 17	高岡市	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	32
31	1 / 26	氷見市	光源寺	親子サークル・スタッフ	8
32	2 / 5	富山市	八尾健康福祉総合センター	親子サークル・職員	7
33	3 / 17	富山市	乳児院	職員	5
34	3 / 18	富山市	乳児院	職員	5
35	3 / 19	富山市	乳児院	職員	5
36	3 / 25	富山市	乳児院	職員	6
合 計					448

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

○ 支援員養成講習

No.	期日	講習日数	市町村	実施場所	対象	受講者数
1	8 / 15～16		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※)
2	1 / 23～24		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※)
3	2 / 23～24		富山市	日赤富山県支部	一般	開催中止(※)

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため開催中止

市町村別講習一覧

市町村	養成講習				基礎講習	短期講習					
	救急法 救急員	水上安全 法救助員	健康生活 支 援 員	幼児安全 法支援員		救急法	水 上 安全法	健康生活 支 援	災 害 時 高齢者支援	地域で支える 認 知 症	幼 児 安全法
富 山 市						32	4	2	4		20
高 岡 市						3		1		1	3
射 水 市								2			2
魚 津 市											3
氷 見 市											5
滑 川 市						1					1
黒 部 市											
砺 波 市							1		1		1
小矢部市										1	
南 砺 市											
朝 日 町											
入 善 町											
舟 橋 村						1					
上 市 町											
立 山 町						1					1
小 計	0	0	0	0	0	38	5	5	5	2	36
そ の 他											
県 支 部					4			1	1		
合 計	0	0	0	0	4	38	5	6	6	2	36

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

奉仕団には、一定の地域ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、18～30歳の社会人や学生によって組織された「青年赤十字奉仕団」、災害救援・点訳など特殊な技能を持った人達で組織された「特殊赤十字奉仕団」がある。

富山県支部においては、地域奉仕団が県内15市町村で53団のほか、青年奉仕団（青奉・看奉）2団と、特殊奉仕団（点訳、災害救援、病院、芸能、ともしび、無線、青少年赤十字賛助）7団が結成されており、約3,600人の団員が幅広いボランティア活動を行った。

(1) 赤十字奉仕団結成状況

ア 地域奉仕団

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	柳町赤十字奉仕団	富山市	S 47. 8. 29	休 団	－	－	－	－	0
2	蛭川赤十字奉仕団		S 47. 11. 2	杉山 由美	10	0	0	109	109
3	清水町赤十字奉仕団		S 50. 6. 24	田村 義秋	0	0	9	39	48
4	愛五赤十字奉仕団		S 53. 3. 7	平岡 香代	0	2	0	27	27
5	白菊赤十字奉仕団		S 53. 4. 22	中村ひとみ	0	0	0	36	36
6	四方赤十字奉仕団		S 54. 2. 15	任海 哲朗	0	0	5	100	105
7	新庄赤十字奉仕団		S 55. 5. 30	黒畑 喜昭	0	8	18	55	73
8	安野屋赤十字奉仕団		S 61. 5. 1	長谷 芳子	0	0	0	18	18
9	山室赤十字奉仕団		S 62. 6. 20	大野 幸恵	0	8	4	95	99
10	堀川南赤十字奉仕団		H 4. 6. 29	休 団	－	－	－	－	0
11	新庄北赤十字奉仕団		H 26. 4. 2	土肥 靖子	0	8	13	66	79
12	大沢野赤十字奉仕団	富山市大沢野	S 52. 4. 10	堀井 禮子	0	0	0	31	31
13	大山赤十字奉仕団	富山市大山	S 57. 12. 9	吉田 悦子	0	0	0	40	40
14	八尾町赤十字奉仕団	富山市八尾	S 53. 4. 21	岡崎 智子	9	0	0	156	156
15	婦中赤十字奉仕団	富山市婦中	S 54. 9. 26	渡邊 睦子	8	0	0	54	54
16	細入赤十字奉仕団	富山市細入	S 58. 3. 30	宮口佳文子	0	0	0	36	36
17	山田赤十字奉仕団	富山市山田	S 57. 8. 6	田中 幸子	0	0	0	25	25
18	高岡南部丸美赤十字奉仕団	高岡市	S 42. 7. 10	伏江美保子	4	0	8	57	65
19	吉久睦赤十字奉仕団		S 49. 7. 8	野村 絹子	0	0	1	21	22
20	伏木赤十字奉仕団		S 51. 9. 28	石須 大雄	6	0	28	104	132

No.	奉仕団名	市町村	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
21	中 田 赤 十 字 奉 仕 団	高岡市	S 52. 9. 2	浅井ユキエ	0	0	3	44	47
22	高岡中央赤十字奉仕団		S 53. 10. 20	田辺 恵子	0	0	2	110	112
23	福岡町赤十字奉仕団		S 58. 7. 3	吉國 姫子	0	0	2	37	39
24	立 野 赤 十 字 奉 仕 団		H 7. 2. 7	山崎 敦子	0	5	2	34	36
25	魚津市赤十字奉仕団	魚津市	S 54. 12. 7	廣田 律子	2	4	0	89	89
26	朝日丘赤十字奉仕団	氷見市	S 52. 8. 9	金森 辰美	0	0	8	57	65
27	東 赤 十 字 奉 仕 団		S 52. 11. 5	休 団	－	－	－	－	0
28	十二町赤十字奉仕団		H 15. 10. 5	森越美智子	0	0	0	21	21
29	窪 赤 十 字 奉 仕 団		H 16. 10. 2	森 節子	0	0	0	25	25
30	滑 川 市 赤 十 字 奉 仕 団	滑川市	S 57. 5. 1	永田 信子	0	0	4	71	75
31	宇奈月赤十字奉仕団	黒部市	S 47. 3. 10	清水 晴乃	0	0	0	10	10
32	黒部市石田赤十字奉仕団		S 57. 7. 20	出戸端淑子	0	0	0	39	39
33	砺波市赤十字奉仕団	砺波市	S 57. 3. 24	山田 順子	6	18	5	233	238
34	庄川町赤十字奉仕団		S 58. 11. 13	中村ひとみ	0	0	53	110	163
35	小矢部市赤十字奉仕団	小矢部市	S 59. 2. 15	中西 順子	0	0	0	53	53
36	南砺市福野赤十字奉仕団	南砺市	S 52. 10. 26	長井久美子	0	0	0	46	46
37	南砺市福光赤十字奉仕団		S 53. 6. 14	堀 光子	0	0	0	46	46
38	南砺市井波赤十字奉仕団		S 55. 6. 6	武田東洋子	0	0	11	84	95
39	南砺市城端赤十字奉仕団		S 60. 2. 27	朝日田鶴子	0	0	4	52	56
40	南砺市井口赤十字奉仕団		H 1. 3. 12	武部 清子	0	0	1	33	34
41	南砺市平赤十字奉仕団		H 1. 12. 17	谷場美智子	0	0	0	25	25
42	南砺市上平赤十字奉仕団		H 2. 10. 14	北田 祥子	0	4	3	23	26
43	南砺市利賀赤十字奉仕団		H 3. 4. 18	野原喜恵子	0	0	0	20	20
44	下 村 赤 十 字 奉 仕 団	射水市	S 46. 12. 8	竹苗 典子	0	0	0	14	14
45	射水市大江赤十字奉仕団		S 53. 7. 6	岩脇 明美	0	5	0	124	124
46	大門町赤十字奉仕団		S 56. 9. 24	休 団	－	－	－	－	0
47	射水市大島赤十字奉仕団		S 56. 12. 21	小川 和子	0	0	0	53	53
48	新湊中央赤十字奉仕団		H 9. 2. 19	吉田とし子	0	6	1	74	75
49	入 善 町 赤 十 字 奉 仕 団	入善町	S 51. 3. 27	大角 秋代	10	0	2	143	145
50	朝日町赤十字奉仕団	朝日町	S 51. 4. 18	井口 一美	10	0	0	170	170
51	舟橋村赤十字奉仕団	舟橋村	S 58. 6. 10	古川寿加子	0	0	0	52	52
52	上市町赤十字奉仕団	上市町	S 56. 11. 30	深川 紀子	0	0	0	35	35
53	立 山 町 赤 十 字 奉 仕 団	立山町	S 57. 5. 19	釈永 静子	12	0	37	211	248
合 計							224	3, 207	3, 431

イ 青年奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山赤十字看護学生奉仕団	S 52. 12. 20	岡田 珠衣	0	0	1	18	19
2	富山青年赤十字奉仕団	S 61. 3. 15	古澤 佳奈	0	0	1	15	16
合 計						2	33	35

ウ 特殊奉仕団

No.	奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団	班	男性	女性	合計
1	富山赤十字点訳奉仕団	S 35. 6. 19	植野 直美	0	0	2	24	26
2	富山赤十字災害救援奉仕団	S 50. 12. 22	休 団	－	－	－	－	0
3	富山赤十字病院奉仕団	S 53. 7. 16	岡本由美子	0	0	0	4	4
4	富山赤十字芸能奉仕団	S 55. 8. 5	飯野エミ子	0	0	0	13	13
5	ともしび赤十字奉仕団	S 60. 3. 30	氷見 治代	0	0	0	52	52
6	富山県無線赤十字奉仕団	H 13. 10. 15	山口 康司	0	0	19	0	19
7	富山県青少年赤十字賛助奉仕団	H 14. 1. 16	小林 福治	0	0	24	6	30
合 計						45	99	144

(2) 赤十字奉仕団富山県支部委員会 常任委員会役員(平成31年4月～令和3年3月)

名誉委員長 山下 和夫 (伏木赤十字奉仕団名誉委員長)
 委員長 岡崎 智子 (地域奉仕団・富山地区選出) (八尾町赤十字奉仕団委員長)
 副委員長 野村 絹子 (地域奉仕団・高岡地区選出) (吉久睦赤十字奉仕団委員長)
 〃 深川 紀子 (地域奉仕団・新川地区選出) (上市町赤十字奉仕団委員長)
 〃 山田 順子 (地域奉仕団・砺波地区選出) (砺波市赤十字奉仕団委員長)
 〃 千森 孝行 (特殊奉仕団選出) (富山赤十字災害救援奉仕団委員長)
 常任委員 土肥 靖子 (地域奉仕団・富山地区選出) (新庄北赤十字奉仕団委員長)
 〃 金森 辰美 (地域奉仕団・高岡地区選出) (朝日丘赤十字奉仕団委員長)
 〃 出戸端淑子 (地域奉仕団・新川地区選出) (黒部市石田赤十字奉仕団委員長)
 〃 中西 順子 (地域奉仕団・砺波地区選出) (小矢部市赤十字奉仕団委員長)

(3) 主な奉仕団関係行事

実施日	事業名	摘要
3月～6月	各赤十字奉仕団総会	文書審議等
4／21	赤十字奉仕団富山県支部委員会	文書審議
5月	日本赤十字社富山県支部評議員会	文書審議
5／20	全国赤十字大会	中止
5／25	赤十字奉仕団常任委員会	日赤支部 8名出席
6月	日本赤十字社第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び担当者会議	文書審議（静岡県支部当番）
6月以降 順次	赤十字広報PR活動	27／49団（地域奉）実施 ティッシュ・チラシ 7,190部を配布
6月以降 順次	在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動	48／49団（地域奉）実施 ティッシュペーパー BOX 5箱 7,181人に配布
6／29～30	赤十字月間社資DM発送作業奉仕	日赤支部 白菊奉、新庄北奉 延べ28名協力
7月	献血運動推進富山県大会	中止
7／2	赤十字奉仕団研修部会・常任委員会	日赤支部 15名出席
7／16	赤十字奉仕団研修会 （富山・新川地区、特殊対象）	サンシップとやま 23団55名出席
7／30	赤十字奉仕団研修会 （高岡・砺波地区対象）	高岡市ふれあい福祉センター 22団50名出席
8月	サマー献血キャンペーン	中止
8／5～7	青少年赤十字トレーニングセンター	中止
9月	富山県総合防災訓練	中止
9／4	支部施設合同災害救護訓練	中止
9／11	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	WEB会議（本社主催）／日赤支部 賛助奉・小林委員、指協会長参加
10月	ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」の普及活動	18／54団（地域奉・青年奉・特殊奉）実施
10／6～8	赤十字奉仕団研修旅行（九州）	中止
10／8	第32回富山県民ボランティア・NPO大会	サンシップとやま ボランティア活動推進富山県民会議会長 表彰 岡崎委員長、土肥委員（研修部会長）、平奉、上平奉
10／22	赤十字奉仕団常任委員会	日赤支部 8名出席
11／11	赤十字奉仕団委員長会議	呉羽ハイツ 47名出席
11／16	日本赤十字社第3ブロック赤十字奉仕団委員長及び担当者会議	WEB会議（三重県支部当番）／日赤支部 岡崎委員長、塚本組織振興係長出席
11／27	日本赤十字社第3ブロックJRC指導者協議会長・担当者研究会	WEB会議（富山県支部当番） 賛助奉・小林委員、指導者協議会長、同 副会長、濱出出席
11／29	とやま子ども・若者フォーラム	サンシップとやま 青少年育成富山県民会議 表彰 賛助奉・小林委員
12／1～25	NHK海外たすけあいキャンペーン	33／54団（地域奉・青年奉・特殊奉）実施 県内実績 648件4,697,479円

実施日	事業名	摘要
12／4	赤十字奉仕団中央委員会	WEB会議（本社主催）／日赤支部 岡崎委員長出席
12／14	赤十字奉仕団研修部会役員会	日赤支部 3名出席
1月	非接触型体温計を配備	団員数に応じて各奉仕団に1～3個配備
1／16	防災ボランティアリーダー養成研修会	WEB会議（本社主催）／参加者自宅 新庄奉・黒畑委員参加
2月	日本赤十字社富山県支部評議員会	文書審議
2／5. 12. 19	赤十字ボランティア養成研修ガイドブック研修会	WEB会議（本社主催）／日赤支部 岡崎指導講師、塚本組織振興係長参加
2／14	南砺市井波赤十字奉仕団創立40周年記念式典	井波社会福祉センター 大坪事務局長、塚本組織振興係長出席
2／16	赤十字奉仕団とやま36号編集委員会	日赤支部 5名出席
2／25	支部倉庫見学	日赤支部 新庄北奉
3／2	赤十字奉仕団常任委員会	日赤支部 13名出席
3／6	富山赤十字看護専門学校閉校記念式典	ANAクラウンプラザホテル富山 岡崎委員長、大坪事務局長、坂井総務課長、林事業推進課長出席
3／10	ボランティア活動充実に向けた研究会	WEB会議（本社主催）／日赤支部 塚本組織振興係長参加
3／20	南砺市上平赤十字奉仕団創立30周年記念式典	上平交流センター 岡崎委員長、大坪事務局長、塚本組織振興係長出席
3／24	オンライン語り部LIVE	WEB配信（宮城県支部主催）／日赤支部、自宅 岡崎委員長、岩脇委員、黒畑委員、古川委員、土肥委員、小林委員、石原団員参加

－活動推進奉仕団指定（支部指定）－

※ 新型コロナウイルスによる影響で、実施は令和3年度に持ち越し

南砺市井口赤十字奉仕団

テーマ 小学生を交えた炊き出し訓練

タイトル 「おいしく楽しく安心を積もう。」

－奉仕団とやま36号（令和2年度号）編集委員－

野村（吉久睦）、山田（砺波市）、土肥（新庄北）、出戸端（黒部市石田）、永田（滑川市）、田中（山田）、野原（利賀）



(4) 奉仕団活動内容

ア 地域奉仕団

- 青少年赤十字との連携活動 ○ 街頭献血の呼びかけ
- 施設訪問（除草・花苗植え・マスク寄贈） ○ 炊き出し訓練
- 赤十字社資募集 ○ 国内外災害等の義・救援金の募集
- 救護（イベント等） ○ 救急法・健康生活支援講習等安全講習の受講
- 在宅ひとり暮らし高齢者訪問 ○ 交通安全指導
- 交通安全マスコット人形作り ○ 給食サービス
- 病院案内等ボランティア ○ 皇居清掃奉仕
- N H K 海外たすけあい募集
- 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」ガイド普及

イ 青年奉仕団

- 街頭献血の呼びかけ ○ 社会福祉施設訪問 ○ 子ども食堂の運営補助

ウ 特殊奉仕団

◎ 富山赤十字点訳奉仕団

- 視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する団員が、わずかな余暇をさいて1冊でも多くの本を点訳しようと努力している。
- 令和2年度はパソコンによる点訳図書データ26タイトルを作成、富山視覚支援総合学校へ贈呈した。
- 日赤県支部において点訳個人指導および点字校正を実施した。

◎ 富山赤十字芸能奉仕団

三味線、唄、踊りなどの芸能をもって県内の社会福祉施設を訪問するため、練習を重ねた。

◎ 富山赤十字病院奉仕団

週2回病院の1室において、ガーゼたたみ、綿球作り、手術材料作り等の奉仕作業を行った。

◎ ともしび赤十字奉仕団

富山赤十字病院受付にて総合案内や来院者の検温、イベント等への臨時救護奉仕、研修等を積極的に行った。

◎ 富山県無線赤十字奉仕団

富山県総合防災訓練をはじめとし、災害に備え他県のアマチュア無線家と通

信訓練を行うため研修を行った。

◎ 富山県赤十字青少年赤十字賛助奉仕団

県内小・中・高校等を訪問し、青少年赤十字の加盟普及・活動促進を行った。

(5) 赤十字奉仕団活動に基づく表彰

●銀色有功章（継続15年）

【奉仕団委員長】

金森 辰美（朝日丘赤十字奉仕団）

竹苗 典子（下村赤十字奉仕団）

長井久美子（南砺市福野赤十字奉仕団）

●金柁感謝状（継続10年）

【奉仕団委員長】

小林 福治（富山県青少年赤十字賛助奉仕団）

清水 晴乃（宇奈月赤十字奉仕団）

田辺 恵子（高岡中央赤十字奉仕団）

廣田 律子（魚津市赤十字奉仕団）

●銀柁感謝状（継続5年）

【奉仕団委員長】

田村 義秋（清水町赤十字奉仕団）

深川 紀子（上市町赤十字奉仕団）

古川寿加子（舟橋村赤十字奉仕団）

5 青少年赤十字（Junior Red Cross）

青少年赤十字（J R C）は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解するとともに、進んで赤十字運動に参加し、一人ひとりが世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校に組織され活動している。

この目的を達成するため、次の三つの実践目標と態度目標のもと、人間性豊かな児童生徒を育てる教育活動の一つとして取り組んでいる。

実践目標

① 健康・安全

命と健康の大切さを学び、人間尊重の精神を養うことを目指す。

② 奉仕

人間として、集団生活（社会）の中の一人としての社会的な責任を自覚し、人のために奉仕する心と実行力を養う。

③ 国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

態度目標 「気づき、考え、実行する」

自らの生活または社会の問題やニーズに「気づき」、その原因と解決のための道筋や方法を「考え」、問題解決のために具体的な活動を「実行する」ことの大切さを意識づけることを目指している。

本年度は242校の加盟校、54,882人のメンバーを有し、熱心な先生方の指導のもとに一層の充実発展に努めた。



(1) 青少年赤十字加盟状況

校 種	校 数	メンバー数	備 考
幼稚園・保育園	14	1,337	令和2年度新規加盟校（再加盟を含む） 滑川市立東加積小学校
小 学 校	134	25,739	
中 学 校	74	25,562	
義務教育学校	2	353	
高 等 学 校	13	1,658	
特別支援学校	5	233	
計	242	54,882	

市町村別加盟校数

市 町 村	小学校	中学校	義務教育 学 校	高等学校	幼稚園 保育園	特別支援 学 校	計
富 山 市	54	27		4	3	3	91
高 岡 市	24	11	1	6	10	1	53
魚 津 市		2					2
氷 見 市	9	4	1	1			15
滑 川 市	3	2					5
黒 部 市	3	2					5
砺 波 市	5	4				1	10
小 矢 部 市	1	4					5
南 砺 市	2	6					8
射 水 市	15	6			1		22
入 善 町	3	2		1			6
朝 日 町	2	1					3
舟 橋 村	1	1					2
上 市 町	6	1		1			8
立 山 町	6	1					7
合 計	134	74	2	13	14	5	242

令和3年3月31日現在

— 32 —

(2) 富山県青少年赤十字指導者協議会役員

会 長 稲田 壮一（射水市立射北中学校校長）

副 会 長 大崎 武治（県立氷見高等学校校長）

〃 小川 直子（射水市立片口小学校校長）

(3) 講習会等の開催

ア 指導者のために行ったもの

メンバーの活動が自主的、かつ、活発に行われるためには、指導者の赤十字に対する深い理解と認識にもとづく適切な指導が必要である。

そこで支部では、青少年赤十字に関する研究会や講習会への参加をすすめ、指導者の育成に努めている。

1) 本社主催

月 日	行 事 名	開催地	備 考
9 / 11	青少年赤十字全国指導者協議会	Web開催	会長 稲田 壮一
1 / 8	指導主事対象青少年赤十字研究会	Web開催	細野 祐輔 (東部教育事務所主任指導主事)

2) ブロック主催

・第3ブロック指導者協議会

11月27日、富山県主催でMicrosoft TeamsによるWeb形式で開催し、当県から稲田会長と大崎副会長、小川副会長、小林委員長、支部職員が参加、他7県から各県会長及び担当者15名が出席し、情報交換並びに青少年赤十字活動普及方策について協議した。

3) 支部主催

・富山県青少年赤十字指導者協議会総会

5月、新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議により実施し全ての議案は承認された（173校回答）

・青少年赤十字活動研究会

2月5日、富山県総合教育センターを会場に、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した中で開催し、県下小、中、高等学校から、23名の指導者が参加し、学校教育における青少年赤十字の普及について研究した。

講 演 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～」

講 師 林 信宏（日本赤十字社富山県支部 事業推進課長）

活動発表 「気づき・考え・実行する子供の姿をめざして」

発 表 者 中井 幸（富山市立熊野小学校 教諭）

イ メンバーのために行ったもの

1) 本社主催

・国際交流事業

11月15日、17か国及び41支部から、高校生メンバー約300人が参加し、初めてWebによる国際交流が日赤本社主催により行われた。

「新型コロナウイルスの3つの顔」をもとに、各国、各地の感染防止や差別・偏見の防止などについて議論した。

富山県からは、2校7名のメンバーが支部から参加した。

・スタディー・プログラム

高校生メンバーのリーダーを養成するスタディー・センターは今年度はWebによる開催となった。

3月20日、富山県支部からは3校11人のメンバーと4人の指導者が参加した。

2) 支部主催

・リーダーシップ・トレーニング・センター

例年、県内の青少年赤十字加盟校より、小・中・高等学校別に参加者を募り、青少年赤十字のリーダー養成を目的として実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

校 種	会 場	参加者	月 日	備 考
小 学 校	砺波青少年自然の家	開催中止	8 / 5 ~ 8 / 6	1泊2日
中 学 校			8 / 5 ~ 8 / 7	2泊3日
高 等 学 校				

(4) 青少年赤十字活動推進校

青少年赤十字加盟校における活動の活性化を図ることを目的として、平成9年度から実施している「青少年赤十字活動推進校」の指定並びに指定校の活動報告を次のとおり行った。

ア 活動報告（令和元年度～令和2年度指定）

「研究報告書」令和3年3月31日発行

・富山市立熊野小学校

研究主題「心と体、知性の調和がとれた人間性豊かな子供を育てる」

・氷見市立十三中学校

活動主題「社会の一員として、主体的・協働的に活動する生徒の育成

～ふるさと十三を愛し、誇りに思う心を育む活動を基盤として～」

イ 令和3年度より学校教育における青少年赤十字の実践事例を募り、加盟校における青少年赤十字活動の充実振興、未加盟校への加盟啓発、学校教育の進展に寄与すること等を目的として青少年赤十字活動実践校の指定を行う。（小・中学校各4校 他に高等学校等を指定予定）

(5) 富山県青少年赤十字賛助奉仕団

次のとおり青少年赤十字の育成・支援に協力した。

月 日	行 事 名	場 所	備 考
8／5～8／7	青少年赤十字トレーニング・センター協力	砺波青少年自然の家	開催中止
9／11	青少年赤十字全国指導者協議会	Web開催	小林委員長
11／10～11／11	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会役員会・総会	福島県	開催中止
11／27	第3ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会	Web開催	小林委員長
2／5	青少年赤十字活動研究会協力	県総合教育センター	団員5名
年間通して	加盟勧誘・講演等	県内各学校	団員

(6) 青少年赤十字指導講師

平成13年に青少年赤十字活動の普及を目的に「富山県青少年赤十字指導講師設置要綱」を定め、以来上野紀一氏（元富山県青少年赤十字指導者協議会長）を指導講師に委嘱し、今年度も新規加盟勧誘や活動助言に努めた。

○訪問学校数 36校

(7) 青少年赤十字防災教育事業

青少年赤十字では、実践目標の一つである「健康・安全」のもと、防災教育を通して、自然災害から青少年が自らの健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭での防災意識を高めることにより、一人ひとりが人間のいのちと健康、尊厳を守ることにつながるよう、プログラム及び教材の開発、研究を進めている。

日本赤十字社は、小・中・高校生を対象とした防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び幼稚園・保育園向けの「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を作成し、加盟校への配付や研修会での活用を行っている。

なお、防災啓発プログラム（P11）の関連講習として、児童・生徒に対する「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」等を活用した、新型コロナウイルス感染予防や差別防止の啓発を出前講座として4校で行った。

6 社会福祉活動

(1) 在宅ひとり暮らし高齢者への訪問活動

地域奉仕団が中心となり、活動を行う地域に居住する在宅ひとり暮らし高齢者宅を訪問している。この活動は、昭和52年から富山県の赤十字奉仕団が独自で行う社会福祉活動として42年間継続して実施している。



なお、平成28年度からは、春のみ年1回の実施とした。

また、高齢者と奉仕団員の双方が新型コロナウイルスによる感染を防ぐため、活動時には①必ずマスクを着用する ②長時間の滞在はなるべく避ける ③少しでも体調が優れない奉仕団員は、活動への参加を見合わせるの3点に注意するとともに、地域の感染状況を十分に注視しつつ慎重に実施した。

在宅ひとり暮らし高齢者訪問活動実績

年度	対象人数[春] (人)	対象人数[冬] (人)	経費[春・冬合算] (円)	持参品 [春]	持参品 [冬]	対象となるひとり 暮らし高齢者
S 52	600~700 (詳細不明)		不明	花鉢		全員
S 53			不明	花鉢	足袋カバー	70歳以上

}

H 4	4,260	4,365	4,790,320	花鉢	靴下	71歳以上
H 5	4,172	4,279	4,498,483	〃	〃	72歳以上
H 6	4,262	4,300	4,742,426	〃	〃	73歳以上
H 7	4,215	4,261	5,989,451	〃	〃	74歳以上
H 8	4,225	4,335	4,395,852	〃	〃	75歳以上

}

H 26	9,898	9,971	6,922,494	ティッシュ 5 箱	靴下	75歳以上
H 27	7,640	7,148	5,071,555	〃	〃	80歳以上
H 28	7,345		1,965,972	〃		〃
H 29	7,747		2,066,817	〃		〃
H 30	7,745		1,968,414	〃		〃
R 1	7,647		1,992,209	〃		〃
R 2	7,181		1,976,849	〃		〃

(2) 身体障害者への援護

身体障害者を激励し、自立の意欲を高めるため、富山県点字競技大会に助成を行った。

7 救護看護師の養成

(1) 富山赤十字看護専門学校

令和3（2021）年3月31日、富山赤十字看護専門学校は126年の歴史に幕を下ろした。

同校は、明治28（1895）年に日本赤十字社準備看護婦養成所として発足し、明治40年に正式に日本赤十字社富山支部病院救護看護婦養成所となった。その後、産婆養成や戦時においては臨時看護婦や乙種看護婦の養成を行い、また戦後は時代のニーズに対応して、国内外の災害や保健活動に活躍できる多くの看護師を養成した。富山型デイサービスの惣万佳代子氏や元環境庁長官の石本茂氏ら、看護師の最高の栄誉とされる「フローレンス・ナイチンゲール記章」の受章者を4人輩出するなど、富山県内で最も歴史ある看護師養成施設としてこれまでに3,554人の卒業生を送り出した。

同校の閉校に伴い解散となる同校同窓会からは、赤十字御歌「四方の国」などが刻まれた白御影石の石碑「閉校記念の碑」を富山赤十字病院に、活動資金を富山県支部にそれぞれ寄付された。

○養成数 3年生19名



(2) 日本赤十字豊田看護大学

平成16年愛知県豊田市に開学した日本赤十字豊田看護大学への支部長推薦入学等による本県からの在学者5名に奨学金の助成を行った。

8 国際活動

世界各地で、洪水・地震など大きな災害の発生や紛争・内乱などによる被災者・難民が、また発展途上の多くの国々では貧困・疾患などで苦しんでいる人々が援助を求めている。赤十字は192の国に広がる世界的ネットワークを生かし、様々な支援活動を行っている。

富山県支部では昭和62年のネパール給水施設整備に始まり、その後の国際支援活動に第3ブロックの各県支部と共同で拠出金を支出している。第3ブロックの送金総額2,000万円のうち、富山県支部は130万円を支出した。

令和2年度 富山県支部参加国際活動事業一覧

事業名	事業内容	事業期間	日本赤十字社の 支出総額	富山県支部の 支出総額
レバノン シリア難民支 援事業	平成23年にシリアで発生した国内紛争が拡大し、隣国レバノンへ流出した難民は劣悪な環境で避難生活を続けている。レバノンにおけるシリア難民の水衛生環境の改善を目的とし、水衛生委員会の組織や研修等、水衛生管理を強化する。	単年度支援 (平成28年度か らの事業)	8,000,000円 (令和2年度)	520,000円 (令和2年度)
アジア・大洋 州給水・衛生 キット支援事 業	洪水やサイクロンが多発している地域に、災害時迅速に給水・衛生活動が展開できるように「給水・衛生キット」を備蓄する。また、現地赤十字社のスタッフやボランティアを対象として機材のフォローアップ及び研修を継続的に支援している。	単年度支援 (平成22年度か らの事業)	6,000,000円 (令和2年度)	390,000円 (令和2年度)
東アフリカ地 域保健強化事 業	自然災害や紛争、テロの頻発、さらに保健指標の低さや貧困率の高さ等、さまざまな課題を抱えた東アフリカ地域住民の保健、水・衛生、防災に関する知識を向上させる。また、防災や保健に関するアニメ映画の上映や現地ラジオ放送を通して啓発活動を実施する。	単年度支援 (平成30年度か らの事業)	6,000,000円 (令和2年度)	390,000円 (令和2年度)

○ NHK 海外たすけあい救援金募集

アジア、アフリカ等の開発途上国での保健衛生の向上、災害対策及び災害発生予防対策、災害被災者及び難民を救援するため、12月1日から25日まで“あなたのやさしさを”をスローガンに、日本赤十字社、日本放送協会、NHK厚生文化事業団の共催で実施され、期間中全国の受付窓口にあたたかい寄付金が寄せられた。富山県支部では、赤十字奉仕団員や青少年赤十字メンバーが、ショッピングセンター等で新型コロナウイルス感染防止に留意しながら募金呼びかけを行った。

- 全 国 86,964件 750,388,183円
- 富山県 648件 4,697,475円

9 医 療 事 業

富山赤十字病院は、地域における公的医療機関として地域医療の充実と医療水準の向上に努めるとともに、災害時には、赤十字本来の業務として医師、看護師等からなる救護班を災害現場へ派遣し被災者の救護にあたる重要な任務を担っている。

このため、常に医療技術の向上と、施設・設備の充実を図るとともに、救護看護師の養成および救護訓練を実施するなど、赤十字病院としての特色を発揮しながら次の基本理念をもって、医療機関としての使命遂行に努めている。



理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基 本 方 針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利

(1) 富山赤十字病院

概要

- 第二次救急指定病院 ■人間ドック・健診施設機能評価認定施設
- WHO・ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院(BFH)」
- 厚生労働省臨床研修指定病院 ■富山県がん診療地域連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構認定病院 ■地域医療支援病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター） ■救急告示病院

ア 開 設 明治40年5月1日

イ 建物延面積 35,681.94㎡

ウ 診療科目 27科

総合内科、腎臓・リウマチ・感染症内科、糖尿病・内分泌・栄養内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、高令心療科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、脳血管内治療科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科

エ	病床数	401床
オ	外来患者数	201,144人（1日平均 831人）
カ	入院患者数	115,296人（1日平均 316人）
キ	健診活動	(ア) 検診者数 8,806人 (イ) 人間ドック（1泊2日） 530人
ク	医療社会事業活動	(ア) 健康教室 91回、258人（糖尿病、安産、禁煙） (イ) 医療相談等 13,338件 (ウ) ボランティア活動 2,677時間

ケ 臨時救護活動

新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての行事を中止とした。

コ 新型コロナウイルス感染症に関する対応

(ア) 3月18日に新型コロナ感染疑い患者が受診することを想定して、感染症診察コンテナのゾーニングを行った。また、診察や検査手順についてマニュアルを作成しスタッフへの周知を行った。診察や検査介助を直接行う医師、看護師は個人防護具（PPE：Personal Protective Equipment）の脱着訓練を行い感染防止に努めた。

(イ) 県の要請を受け感染症指定病院の協力病院として、次の通り対応している。

- ・ 4月3日から帰国者・接触者外来設置のうえ、行政PCR検査等を実施。
- ・ 4月上旬から病院正面入口に発熱外来を設置し、院内感染防止のため、患者のトリアージを実施。
- ・ 4月中旬から一病棟をコロナ患者専用病棟とし、コロナ患者を受け入れた。（5月下旬から受入れ体制を解除、その後もコロナ病床を一定数確保）
- ・ 陰圧病室の改修工事や人工呼吸器、PCR検査機器などを整備



(ウ) 県内新型コロナウイルス感染軽症者宿泊施設への看護師の派遣

- ① 5 / 1～4 2名
- ② 5 / 4～7 2名
- ③ 8 / 29～9 / 1 2名



(2) **富山赤十字訪問看護ステーション**

地域医療・福祉の向上に努めるため、在宅療養される方へ24時間体制で日常生活の看護及び家族介護の支援を行っている。

従事者（看護師・作業療法士） 11名

利用者数 229名

訪問延べ回数 7,469回

(3) **愛宕・安野屋地域包括支援センター**

愛宕、安野屋地域を対象とし、介護予防の推進や総合相談業務、地域ケア体制の推進などの業務に取組み、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう支援している。

相談実件数 1,427件

(4) **富山赤十字ケアプラン事業所**

介護サービスを受けるために必要な要介護申請代行や居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行っている。

相談実件数 622件

(5) **患者支援センター**

平成29年10月に患者支援センターを開設した。

外来通院中から入院準備、入院治療、退院準備、退院後の外来通院という一連の流れを医師・看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士等他職種が連携しサポートしている。

従来 of 地域医療連携室を深化させ、今後より地域のかかりつけ医や行政、介護サービスとの連携を密にし、病院の理念である「人道博愛の赤十字精神に基づく良質で安全な医療の提供」を実践できるよう努めている。

10 血 液 事 業

富山県赤十字血液センターは、昭和40年1月に開設以来、輸血用血液製剤を必要としている方のため、多くの献血者から善意の血液を受け入れ、安全性確認の検査を経て製造された輸血用血液製剤を毎日県内の医療機関に届けている。

広域事業運営体制（東海北陸ブロック血液センター）により、輸血用血液製剤の安全性の向上と安定供給の確保に努めている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、検温と手指消毒など徹底した感染対策を行い「新しい生活様式」に基づいた安心安全な献血会場の運営に努めるとともに、密集や密接を避けるため事前予約の推進を図り、各種団体、行政機関との連携強化や報道機関への協力要請するなど、献血者の確保に取り組むこととしている。

(1) 令和2年度実績の概要

ア. 献血実績

(単位：人)

	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
移動採血	634	19,670		
献血ルーム	491	3,940	9,140	3,593
合 計	1,125	23,610	9,140	3,593

イ. 供給実績

(単位：200mL採血を1本として換算)

	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
全血製剤				
赤血球製剤	1,049	48,666		
血漿製剤	24	9,582	2,664	
血小板製剤				67,725
合 計	1,073	58,248	2,664	67,725

(2) 献血時の健康診断基準及び採血前検査の変更

・健康診断基準（血圧・脈拍・体温）の変更

令和2年9月1日に法律（血液法）が改正され、献血にご協力いただく方の健康診断基準が新たに定められた。

新たな基準では、最高血圧が、90mmHg以上179mmHg以下、最低血圧は、50mmHg以上109mmHg以下。また、脈拍40回／分以上100回／分以下、体温37.4℃以下の方からご協力をいただくことになった。

- ・全血採血における採血前検査の変更

令和2年9月1日から、採血副作用の低減を目的に、移動採血車では、全血採血における採血前の検査用血液の採取方法が、肘周辺の静脈からではなく「指先から少量の血液を採取する方法」へ変更になった。



(3) 新型コロナウイルス感染予防対策

血液センターでは、献血会場での感染予防に取り組んでいる。




- ・入場には、「マスクの着用、体温測定、手洗い又は手指消毒」をお願いしている。

ご入場時のお願い		
		
マスク着用 <small>※マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください</small>	体温測定 <small>※発熱が確認された方は入場をご遠慮いただいています</small>	手洗い又は手指消毒

- ・混雑・密集回避として、「事前予約、少人数でのご来場」をお願いしている。

混雑・密集回避のためのお願い		
		
事前予約 <small>※予約時間にお越しください。 (予約されていない場合にはスタッフにお声がけください)</small>	少人数でのご来場 <small>※おしゃべりは控えめにお願いします</small>	十分に休憩した後は速やかな帰宅

- ・職員と会場内の感染予防に取り組んでいる。

職員と会場内の取り組み		
		
職員のマスク着用・体温測定・手指消毒の徹底	換気と消毒清掃の徹底	手指消毒液の設置

11 社会福祉事業

児童福祉施設

富山県立乳児院は、昭和27年から、社会的養護が必要な0歳からおおむね2歳までの乳幼児を一時的に預かり、24時間365日通して養育する富山県内では唯一の施設である。

養育目標を「安全で安心な環境と温かく安定した人間関係の中で子どもが心身ともに健やかに成長する」と掲げ、衣類、寝具などの備品、食事、入浴、睡眠などの暮らしのいとなみ、四季折々の行事など日常的な家庭環境を提供し、子どもの健やかな成長を支援している。

こうした支援を継続させるため、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに「病児・病後児保育」、「ショートステイ」、「里親支援」などの活動やボランティア受入れは、一部停止又は制限を行った。

令和2年度入所児童等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
措置入所初日在籍人数	17	18	16	16	16	15	14	16	14	13	11	11	177
措置入所在籍延人数	517	519	455	496	477	478	467	440	486	403	304	334	5,376
一時保護委託受入人数	2	1	0	0	3	2	4	3	1	1	1	1	19
一時保護委託延人数	53	18	0	65	96	17	101	67	31	32	29	31	540
ショートステイ受入人数	1	2	2	6	2	2	3	2	1	2	0	1	24
ショートステイ延人数	4	4	7	16	9	8	7	11	3	15	0	2	86
病児・病後児保育児童数	1	0	4	8	4	5	18	13	11	11	14	19	108



12 会員の増強と社資の確保

日本赤十字社の活動資金は、会員から納入していただく「会費」と広く個人や法人あるいは団体から寄せられる「寄付金」から成り立っている。この「会費」と「寄付金」を合わせて「社資」と呼んでいる。

日本赤十字社富山県支部では、毎年5月を赤十字運動月間として、広く県民の皆様方に赤十字事業推進のため、会員加入を促進し、社資の増収に努めた。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みダイレクトメールの送付を5月から7月に変更した。

(1) 赤十字運動月間を中心としての赤十字思想の普及

ア 支部広報紙「赤十字富山」430,000部を地区区分を通じ県下全世帯に配布した。

また、活動実績を中心とした「赤十字とやま」を年2回、市町村及び関係者に配付し、赤十字思想の普及と会員加入を呼びかけた（21地区区分中15地区区分で、自治会等の回覧に協力していただいている。）。

イ 本社からのポスター、リーフレット等を地区区分等関係機関に提供し、運動月間における会員の増強について協力を依頼した。

ウ マスコミを通じての普及を図るため、テレビ局・ケーブルテレビ局には本社より配布のCMテープ、ブルーレイを、ラジオ局には第3ブロック共同製作のCMデータを配布し、県民への周知方協力を依頼した。

エ 5月8日の世界赤十字デーを中心に、「レッドライトアッププロジェクト」を実施した。

県内での取り組み

○株式会社インテック（タワー111）

5月1日(金)～8日(金) 日没後～22:00まで 赤色照明

(2) 会員の増強

ア 赤十字会員には、県民の皆様がその趣旨に賛同され、会員に加入し、その能力に応じて会費を拠出していただく会員制度本来の姿が望ましく、この趣旨により、特別社員以上の会員の増強に努めた。

イ 個人篤志者等に支部広報紙「赤十字富山」を同封し、ダイレクトメールによって会費への協力を依頼した。

ウ 法人会員の増強については、新規法人の開拓を進めるとともに、災害救護事業

等指定事業への協力をダイレクトメールにより依頼した。

エ 会員とのコミュニケーションを目的として、寄付者に対し、お礼の電話をおかけした。

(3) 地区分区との協力体制の強化

会員の増強・社資の確保により、支部事業を推進するため、地区分区とのより緊密な協力体制の強化に努めた。

ア 地区分区委嘱職員研修会

令和3年2月18日に予定していたが大雪のため延期となり、令和3年3月4日に開催。日本赤十字社富山県支部において、地区分区委嘱職員19名を対象に、令和3年度の支部事業、社資依頼額及び予算その他赤十字業務全般についての研修を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、検温、消毒、換気を徹底し、例年よりも広い部屋を使用。ソーシャルディスタンスが保てるような座席の配置で行った。

(4) 企業とのパートナーシップ

赤十字の活動に継続的にご協力いただく企業・団体の皆様とパートナーシップを結び、共に社会に貢献する活動を行いながら、相互に発展できる関係の構築を推進している。

赤十字支援マークの使用

企業の広告媒体や商品等に赤十字支援マークを使用することによる赤十字活動への資金協力や赤十字寄付機能付き自動販売機の設置等、企業のCSR活動を推進した。

内 容	協力企業数
寄付機能付き自動販売機	2 社
ポイントによる寄付	2 社
売り上げの一部を寄付	1 社

(5) **社資功労感謝状伝達式**

社資募集に貢献された個人・法人のうち金色有功章以上の表彰となる方々を対象に、県庁特別室において、社資功労感謝状伝達式を開催し、日本赤十字社富山県支部副支部長（富山県厚生部長）から感謝状が伝達された。

令和2年10月23日

社長感謝状	個人	3名
〃	法人	14社
金色有功章	個人	3名
〃	法人	4社

令和3年3月26日

厚生労働大臣感謝状	個人	2名
社長感謝状	法人	2社
金色有功章	個人	2名
〃	法人	5社

(6) **富山県赤十字有功会総会**

新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、一堂に会する会合を取り止め、文書審議での実施とした。

令和元年度事業報告、決算報告並びに令和2年度事業計画案、予算案、役員改選等について審議いただいた。

209名の方より書面議決書を受領し集計した結果、いずれの議案も原案どおり承認された。

なお、講演会・懇親パーティについては中止とした。

(7) **全国赤十字大会**

例年5月に、名誉総裁皇后陛下を始め各名誉副総裁（秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃殿下）ご臨席の下、明治神宮会館（東京都）で開かれていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(8) **日赤紺綬・有功会会長協議会の総会**

全国47都道府県の紺綬有功会、有功会会長をもって組織されている「日赤紺綬・有功会会長協議会」の総会が、10月1日～2日三重県において開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書審議での実施となった。

令和元年度収支決算報告、会計監査報告、役員の補選等について審議され、いずれも承認された。

(9) 社資の募集実績

ア 社資募集実績額

(単位：円)

区 分			目 標 額	実 績 額	達成率(%)
社資総額			184,000,000	229,058,334	124.4
内	一般社資	会 費	156,000,000	167,234,797	107.2
		寄 付 金	10,000,000	32,547,012	325.4
		指定事業社資	0	0	—
		合 計	166,000,000	199,781,809	120.3
訳	法人社資	指定事業	4,700,000	4,700,000	100.0
		そ の 他	13,300,000	24,576,525	184.7
		合 計	18,000,000	29,276,525	162.6

※上記の中には次の寄付金があります。

1. 病院指定 39,210,000円 (個人 31,190,000円 法人 8,020,000円)
2. 乳児院指定 263,576円 (個人 50,000円 法人 213,576円)

イ 社資功労受章者 (敬称略)

○厚生労働大臣感謝状 (個人)

高木 淑子 (高岡市) 故 新田 民雄 (富山市) 山下 榮子 (富山市)
山田 勲 (富山市) 山田 重作 (富山市)

○厚生労働大臣感謝状 (団体)

泉町二丁目延命地藏尊奉賛会 (富山市)

○社長感謝状 (個人)

高野 博 (富山市) 津根 良孝 (富山市) 藤井 暁子 (富山市)
山下 和夫 (高岡市)

○社長感謝状 (法人)

協和ファーマケミカル株式会社 (高岡市) 株式会社松電舎 (富山市)
第一共同印刷株式会社 (富山市) 第一物産株式会社 (高岡市)
高尾建設株式会社 (富山市) 武内プレス工業株式会社 (富山市)
堤商事株式会社 (富山市) 東邦工業株式会社 (滑川市)
富木医療器株式会社 (富山市) 富山鋼機株式会社 (富山市)
富山ダイハツ販売株式会社 (富山市) 富山トヨペット株式会社 (富山市)

富山熔断株式会社（富山市）

長岡工業株式会社（富山市）

仁壽殖産株式会社（高岡市）

ネットヨタ富山株式会社（富山市）

北陸機材株式会社（富山市）

北陸コンピュータ・サービス株式会社（富山市）

株式会社丸八（魚津市）

株式会社村尾地研（富山市）

菱越電機株式会社（富山市）

○金色有功章（個人）

門田 忠行（射水市） 久和 進（舟橋村） 高畠 輝男（砺波市）

故 布目 久三（富山市） 延野 源正（高岡市） 溝口 真史（富山市）

吉田 重義（富山市）

○金色有功章（法人）

アステラスファーマテック株式会社（富山市）

オークス株式会社（富山市）

株式会社オキタ（高岡市）

塩崎商衡株式会社（高岡市）

株式会社島田樹脂（富山市）

津根興産株式会社（富山市）

富山ロータリークラブ（富山市）

原建設株式会社（射水市）

氷見軽合金株式会社（氷見市）

株式会社ホクタテ（富山市）

北陸車研工業株式会社（富山市）

株式会社マツヤ（富山市）

株式会社宮木建設（砺波市）

※掲載のご意向を確認できた方のみ掲載しております。

13 赤十字思想の普及

支部では、各種の広報資料を活用し、赤十字に対する理解と協力を求めている。

(1) 事業を通じての広報

赤十字奉仕団および青少年赤十字による奉仕活動の推進を通しての広報のほか、地域・職場における献血や救急法等赤十字講習など実施の場合にも、チラシの配布、国際救援や赤十字活動を紹介するDVDの上映など、できる限りわかり易い方法で赤十字全般にわたる広報に努めた。

(2) マスコミを通じての広報

赤十字運動月間のCMを県内テレビ局、ラジオ局、ケーブルテレビ局に持参し、社業の浸透を図った。

(3) 刊行物等による広報

赤十字のPR用として配付活用した資料は、次のとおりである。

(刊行物)

- 赤十字運動月間ポスター
- 赤十字運動月間パンフレット
- 赤十字NEWS（月1回発行）
- ACTION！防災・減災ポスター
- 広報紙「赤十字富山」（年1回発行 県内全世帯配布）
- 広報紙「赤十字とやま」（年2回発行）
- 令和2年度事業報告、令和3年度事業計画
- 救急法の基礎知識～備えあれば安心～
- 知っていれば安心です～心肺蘇生とAED～
- 手ではなそう
- 赤十字ボランティア活動ブックレット
- 赤十字ボランティア情報誌「RCV」（年3回発行）
- 機関紙「奉仕団とやま」（年1回発行）
- 青少年赤十字機関紙（小・中・高用）
- 青少年赤十字指導者手引
- 青少年赤十字指導情報
- 青少年赤十字ハンドブック
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター・ガイドブック
- 赤十字の父アンリー・デュナン
- ソルフェリーノの思い出
- 機関紙「JRCとやま」（年1回発行）
- 富山県青少年赤十字活動推進校研究報告書（年1回発行）

(4) 広報視聴覚資料一覧

題 名	内 容	時 間	制作年
赤十字この一年	赤十字の活動を網羅的に紹介	15分	毎年
赤十字の基本原則	赤十字基本原則をアニメーションで紹介	3分	平成29年
赤十字の成り立ちと活動	赤十字の成り立ち、日本赤十字社の成り立ち、日本赤十字社事業を紹介	6分	平成25年
令和元年台風第19号災害への対応	長野市内の被災地で救護活動を行った富山県支部救護班などによる救護活動を紹介	9分	令和元年
気候変動に苦しむ人々を救う	ルワンダ赤十字社と日本赤十字社によるパートナーシップ事業を紹介	12分	令和元年
第33回 赤十字国際会議等における日本代表団の活動報告	世界中の赤十字・赤新月社と連盟、ICRC、ジュネーブ諸条約締結国の代表が一堂に会し、スイス・ジュネーブで開催された赤十字国際会議等の様子	10分	令和元年
「新型コロナウイルス感染症」まん延下での災害救護活動～貴島明日香の日本赤十字社リポート～	2020年1月から続く日赤の新型コロナウイルス感染症に関する知られざる対応と令和2年7月豪雨災害での活動を、インタビューを交えながら収録	27分	令和2年

14 支部・施設間の連絡調整

支部・施設（病院、血液センター等）間の連絡調整を行い、赤十字事業推進の一体化と円滑なる運営を図るため、支部・施設業務連絡会議等を開催した。

○ 支部施設業務連絡会議（年1回）

- ・事業計画の推進 ・職員の人材育成、研修計画 ・職員合同採用
- ・災害救護訓練 ・もっとクロス！計画の取り組み他

(ア) 広報担当者部会（年3回）

(イ) 研修担当者部会（年1回）

(ウ) 災害救護等担当者部会（年1回）

15 日本赤十字社富山県支部役員名簿

令和3年4月1日現在

支 部 長	新 田 八 朗	富山県知事
副 支 部 長	木 内 哲 平	富山県厚生部長
〃	森 雅 志	富山県市長会長（富山市長）
〃	舟 橋 貴 之	富山県町村会長（立山町長）
監 査 委 員	笹 原 靖 直	富山県町村会副会長（朝日町長）
〃	荒 井 公 夫	元末広開発(株)相談役
本社代議員（理 事）	久 和 進	北陸電力(株)代表取締役会長
本社代議員	朝 日 重 剛	朝日印刷(株)代表取締役会長
〃	山 下 和 夫	赤十字奉仕団富山県支部委員会 名誉委員長
評 議 員（富山市地区）	今 本 雅 祥	富山市副市長
〃（ 〃 ）	野 尻 昭 一	富山市社会福祉協議会長
〃（ 〃 ）	山 村 敏 博	富山市民生委員・児童委員協議 会長
〃（ 〃 ）	北 岡 勝	富山市自治振興連絡協議会長
〃（ 〃 ）	廣 田 憲 彦	富山市共同募金委員会会長
〃（ 〃 ）	土 肥 靖 子	富山市赤十字奉仕団代表
〃（ 〃 ）	島 田 祐 三	富山市老人クラブ連合会長
〃（ 〃 ）	和 田 麗 子	富山市母親クラブ連絡協議会長
〃（ 〃 ）	岡 崎 智 子	富山市赤十字奉仕団代表
〃（高岡市地区）	河 村 幹 治	高岡市副市長
〃（ 〃 ）	浦 田 一 郎	高岡市連合自治会長
〃（ 〃 ）	尾 崎 憲 子	高岡市社会福祉協議会長
〃（ 〃 ）	田 辺 恵 子	高岡市地区赤十字奉仕団代表
〃（射水市地区）	夏 野 元 志	射水市長
〃（ 〃 ）	竹 苗 典 子	射水市地区赤十字奉仕団代表
〃（魚津市地区）	村 椿 晃	魚津市長
〃（氷見市地区）	林 正 之	氷見市長
〃（滑川市地区）	上 田 昌 孝	滑川市長
〃（黒部市地区）	大 野 久 芳	黒部市長
〃（砺波市地区）	夏 野 修	砺波市長

評 議 員（南砺市地区）	田 中 幹 夫	南砺市長
〃（小矢部市地区）	桜 井 森 夫	小矢部市長
〃（新川厚生センター）	笹 原 靖 直	朝日町長
〃（中部厚生センター）	古 越 邦 男	舟橋村長
〃（支部長選出）	中 井 敏 郎	富山商工会議所常議員
〃（ 〃 ）	岩 田 繁 子	富山県婦人会長
〃（ 〃 ）	山 下 和 夫	赤十字奉仕団富山県支部委員会 名誉委員長
〃（ 〃 ）	金 岡 克 己	富山県赤十字有功会長
〃（ 〃 ）	稲 田 壮 一	富山県青少年赤十字指導者協議 会長

16 日本赤十字社富山県支部・施設一覧

令和3年4月1日現在

	施 設 名	代 表 者 等	職員数
支 部	日本赤十字社富山県支部	事務局長 大坪 昭一	10
施 設	富 山 赤 十 字 病 院	病院長 平岩 善雄	794
	（受託）富山県立乳児院	院長 〃	31
	富山県赤十字血液センター	所長 横川 博	42

※富山赤十字看護専門学校は、令和3年3月31日をもって閉校となりました。

資 料 I

地区分區別 活動狀況

17 救護装備品配備状況

地区区分	災 害 救援車 (台)	R 2 年度	H28～R元年度	H27年度	H24～25年度	H20～26年度	H18～19年度
		大型サーキ ュレーター (車両更新)	(車両更新)	救護所用テント (車両更新)	発電機・AED・救護 所用テント・救急セット (車両更新)	炊き出し 用炊飯器 (車両更新)	救護所用テント (車両更新)
富 山 市	1	5		2	AED (1)	9	49
富山市大沢野	※1				発電機	1	5
富山市大山	1				発電機	1	4 (1)
富山市八尾	1				救護所用テント	1	10
富山市婦中	※1			1	救護所用テント	1	9
富山市山田	※			(1)	救急セット	1	2
富山市細入	※				発電機 (1)		2
高 岡 市	1	3	(1)		発電機	6	26
高岡市福岡	1				発電機	1	1
魚 津 市	1	1			AED	1	16
氷 見 市	1	1	(1)	8	AED	4	20
滑 川 市	1	1	(1)	4	AED	1	5
黒 部 市	1	1		5	発電機	1 (1)	10
黒部市宇奈月	1				発電機 (1)	1	1
砺 波 市	1	1			発電機	1	19 (1)
砺波市庄川	1				AED	1	4
小 矢 部 市	1	1	(1)		発電機	1	20
南砺市城端	1			1	発電機	1	1
南 砺 市 平	1			1	AED	1 (1)	1
南砺市上平	1			1	AED	1	1
南砺市利賀	1				AED (1)	1	1
南砺市井波	1			2	救護所用テント (1)	1	1
南砺市井口	1				発電機	1 (1)	1
南砺市福野	1	1	(1)	2	発電機	1	1 (1)
南砺市福光	1		(1)	1	AED	1	2
射水市新湊	1				AED	1 (1)	2
射水市大島	1	1			発電機	1	1
射水市小杉	1				発電機	2	1 (1)
射水市大門	1	1 (1)			発電機	1	1
射 水 市 下	1				発電機	1	1 (1)
入 善 町	1	1	(1)		救護所用テント	1	12
朝 日 町	1		(1)		AED	1	10
舟 橋 村	1				発電機	(1)	1
上 市 町	1	1			発電機	1	16
立 山 町	0	1			救護所用テント	1	11
合 計		20 (1)	(8)	28 (1)	35 (5)	50 (5)	268 (5)

※富山市大沢野と細入、婦中と山田が車両を共同利用

18 令和２年度地区・分区救援物資分置状況

地区分区	年度中交付数	毛布	綿毛布	緊 急 セット	タオル	鍋セット	ポット	カセット コンロ	安 眠 セット	石鹸
	年度末分置数									
富 山 市	交付数	2	1	2	20	0	1	2	0	0
	分置数	12	12	3	120	0	3	3	0	0
富山市大沢野	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	0	2	0	0
富山市大山	交付数	2	2	1	10	1	0	1	0	0
	分置数	6	6	2	60	1	0	1	0	0
富山市八尾	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	20	10	4	100	2	0	2	0	2
富山市婦中	交付数	0	1	1	10	1	0	1	0	0
	分置数	10	8	4	190	2	0	2	0	1
高 岡 市	交付数	2	2	2	10	2	0	2	0	0
	分置数	20	10	10	240	6	0	6	0	10
魚 津 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	0	6	0	20
氷 見 市	交付数	10	0	2	70	2	0	2	0	0
	分置数	16	6	7	120	6	0	6	0	7
滑 川 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	6	2	60	2	0	2	0	2
黒 部 市	交付数	4	2	1	20	1	0	1	0	0
	分置数	24	24	9	240	6	0	6	0	6
砺 波 市	交付数	4	3	3	60	3	0	3	0	0
	分置数	13	16	4	190	2	0	2	0	0
砺波市（庄川）	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	15	5	3	100	3	0	3	0	0
小 矢 部 市	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	12	0	3	60	1	0	1	0	0
南砺市（福祉課）	交付数	13	2	5	90	5	0	5	0	20
	分置数	20	8	10	200	2	0	2	0	5
南砺市（平）	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
南砺市（上平）	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
南砺市（利賀）	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	10	4	5	100	1	0	1	0	5
射 水 市	交付数	30	11	9	148	5	0	3	0	4
	分置数	20	20	4	200	4	0	4	0	20
新川厚生センター	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	8	8	3	140	2	0	2	0	18
入 善 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	16	13	6	160	4	0	4	0	2
朝 日 町	交付数	2	0	1	10	1	0	1	0	0
	分置数	15	10	3	80	2	0	2	0	2
立 山 町	交付数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分置数	30	6	4	160	3	0	3	0	0
令和２年度 合 計	年度中交付数	69	24	27	448	21	1	21	0	4
	年度末分置数	343	214	109	3,060	59	3	62	0	110

※令和２年度末に救援物資を分置している地区・分区のみ記載

19 近年の県内大規模災害に対する救援物資交付状況

災 害 名	世帯数	人員	毛布	綿毛布	緊急セット	タオル	安眠セット	石鹸
入善高波災害（H20.2）	26	53	62		65	900	40	76
南砺豪雨災害（H20.7）	59	160	81	13	74	2,170		69
高岡市水害（H24.7）	102	258	20	10	100	2,580		108
魚津大規模火災（H25.11）	9	22	37		8	150		
南砺市地滑り災害（H29.1）	4	6	4	2	4	40		

その他の災害に対する救援物資交付状況

地区区分	R 2			R 1			H30			H29			H28		
	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金	世帯数	人 員	弔慰金
富 山 市	4	5	2	5	10	3				6	13	4	2	8	1
富山市大沢野				2	6								5	6	
富山市大山	2	2											2	3	2
富山市八尾				1	2										
富山市婦中	1	2		2	4	1	1	2		2	10				
高 岡 市	2	4	1	3	11		5	13	1	8	19	1	7	18	1
魚 津 市				2	4					1	1				
氷 見 市	3	10	3	2	4		5	20	1	7	22		2	2	1
滑 川 市							1	1		1	6		1	1	1
黒 部 市	2	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4	1
砺 波 市	3	6	1	3	14		3	16	4	1	1				
小 矢 部 市	1	1	1	1	2					1	5		4	9	1
南 砺 市	1	1	1												
南砺市(城端)	3	4								2	8		2	8	
南砺市(平)															
南砺市(利賀)															
南砺市(福野)	1	2		2	3								5	16	
南砺市(福光)	1	3					1	1		2	9		2	5	
射 水 市	12	25					5	10	1	6	14	1			
入 善 町				2	3	1	1	2					3	10	3
朝 日 町	1	1								3	8				
上 市 町	1	3					2	9	2						
立 山 町							1	3		1	1	1	1	2	2
合 計	38	71	9	26	64	6	26	78	10	42	118	8	39	92	13

※交付実績のある地区・分区のみ記載

20 令和２年度講習実績一覧表

地区区分名	実施場所	対象	人数	講習名
富山市	くまのこども園	親子サークル・職員	10	幼児安全法
	西田地方保育園	職員	32	幼児安全法
	新庄保育所	親子サークル・職員	5	幼児安全法
	山室中部小学校	教職員	13	救急法
	堀川小学校	教職員	30	救急法
	光陽小学校	教職員	30	救急法
	寒江小学校	教職員	15	救急法
	新庄北小学校	教職員	30	救急法
	柳町小学校	教職員	14	救急法
	呉羽小学校	教職員・PTA	14	救急法
	上条小学校	教職員	9	救急法
	興南中学校	教職員	14	救急法
	三成中学校	生徒	47	救急法
	富山大学附属中学校	教職員	42	救急法
	富山いずみ高校	生徒	10	救急法
	//	生徒	33	救急法
	//	生徒	32	災害時高齢者生活支援
	雄峰高校	生徒	12	健康生活支援
	高志支援学校	教職員	25	救急法
	しらとり支援学校	教職員	20	救急法
	恵光学園	保護者・職員	32	幼児安全法
	四方公民館	奉仕団員・住民	26	災害時高齢者生活支援
	岩瀬公民館	ファミリーサポート会員・職員	7	幼児安全法
	奥田公民館	シルバー人材センター会員・職員	15	幼児安全法
	西田地方公民館	ファミリーサポート会員・職員	7	幼児安全法
	新庄北公民館	ファミリーサポート会員・職員	7	幼児安全法
	新保公民館	ファミリーサポート会員・職員	12	幼児安全法
	昭和電工セラミックス富山工場	職員	60	救急法
	富山県生協富山センター	組合員	16	救急法
	市子育て支援センター	ファミリーサポート会員・職員	23	幼児安全法
	//	ファミリーサポート会員・職員	6	幼児安全法
	県総合情報センター	森林組合員	41	救急法
	//	新規採用教員	41	幼児安全法
	県教育文化会館	県児童クラブ指導員	15	救急法
	県総合体育センター	水泳指導員	25	救急法
	//	消防初任科生	39	水上安全法
	県陸上競技場	体育施設管理者	18	救急法
	市民プール	施設職員	49	水上安全法
	//	施設職員	45	水上安全法
	東富山温水プール	施設職員	16	水上安全法
	健保連富山連合会	一般・職員	26	健康生活支援

地区区分名	実 施 場 所	対 象	人数	講 習 名
富 山 市	健保連富山連合会	一般・職員	25	健康生活支援
	日赤富山県支部	ガールスカウトリーダー	11	健康生活支援
	//	奉仕団員	25	災害時高齢者生活支援
	赤十字血液センター	職員	18	救急法
	//	職員	17	救急法
	マリエ献血ルーム	職員	5	救急法
	//	職員	5	救急法
	乳児院	職員	5	幼児安全法
	//	職員	5	幼児安全法
	//	職員	5	幼児安全法
	//	職員	6	幼児安全法
	52件		1,090	
富山市大沢野	ウィンディ	職員	42	救急法
	1 件		42	
富山市大山	大庄小学校	教職員	17	救急法
	1 件		17	
富山市八尾	檜尾小学校	教職員	10	救急法
	八尾健康福祉総合センター	親子サークル・職員	7	幼児安全法
	八尾コミュニティーセンター	奉仕団員	25	災害時高齢者生活支援
	3 件		42	
富山市婦中	婦中ふれあい館	ファミリーサポート会員・職員	12	幼児安全法
	婦中町西保健福祉センター	奉仕団員	32	災害時高齢者生活支援
	富士薬品	職員	10	救急法
	//	職員	11	救急法
	//	職員	30	救急法
	ねいの里	捕獲従事者	22	救急法
	6 件		117	
富山市山田				
富山市細入				
高 岡 市	横田小学校	教職員	14	救急法
	高岡向陵高校	生徒・教職員	38	救急法
	富山県生協西部センター	組合員	7	救急法
	伏木高校	生徒	12	健康生活支援
	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所	学生	32	幼児安全法
	市ふれあい福祉センター	シルバー人材センター会員・職員	11	幼児安全法
	こどものその	親子サークル・職員	10	幼児安全法
	西五位公民館	奉仕団員	45	地域で支える認知症
	8 件		169	
魚 津 市	つばめ児童センター	親子サークル・職員	8	幼児安全法
	//	ファミリーサポート会員・職員	8	幼児安全法
	すずめ児童センター	親子サークル・職員	9	幼児安全法
	3 件		25	

地区区分名	実 施 場 所	対 象	人数	講 習 名
氷 見 市	海清保育園	親子サークル・職員	6	幼児安全法
	なないろ	親子サークル・職員	16	幼児安全法
	光源寺	親子サークル・スタッフ	8	幼児安全法
	いきいき元気館	保護者・スタッフ	14	幼児安全法
	//	保護者・スタッフ	12	幼児安全法
	5 件		56	
滑 川 市	富山県生協東部センター	くらしの助け合いの会会員	8	救急法
	市民交流プラザ	シルバー人材センター会員・職員	8	幼児安全法
	2 件		16	
黒 部 市				
砺 波 市	市温水プール	施設職員	9	水上安全法
	市役所	奉仕団員	80	災害時高齢者生活支援
	2 件		89	
砺波市庄川				
小 矢 部 市	市総合保険福祉センター	奉仕団員	37	地域で支える認知症
	1 件		37	
南砺市城端				
南 砺 市 平				
南砺市上平				
南砺市利賀				
南砺市井口				
南砺市井波				
南砺市福野				
南砺市福光				
射 水 市	救急薬品市民交流プラザ	ファミリーサポート会員・職員	17	幼児安全法
	//	ファミリーサポート会員・職員	11	幼児安全法
	足洗公民館	地域住民	21	健康生活支援
	第一イン新湊	ライオンズクラブ会員	30	健康生活支援
	4 件		79	
入 善 町				
朝 日 町				
舟 橋 村	舟橋小学校	教職員	18	救急法
	1 件		18	
上 市 町				
立 山 町	釜ヶ淵公民館	親子サークル・スタッフ	7	幼児安全法
	林業普及センター	森林組合員	12	救急法
	2 件		19	
合 計	91件		1,816	

* 支部主催の講習は除く。

21 赤十字奉仕団 令和2年度主要地域活動 一覧（地域奉仕団・地区区分別）

富山市地区	富山市地区赤十字奉仕団	蜷川 清水町 愛五 白菊 四方 新庄 安野屋 山室 新庄北（柳町、堀川南休団）計11団 594名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 858人（蜷川155人、清水町120人、愛五60人、白菊88人、四方73人、新庄80人、安野屋55人、山室165人、新庄北62人）	
	地域防災・救護活動 蜷川 蜷川っ子防災安全教室で新聞スリッパ作り、炊き出し 新庄 新庄校下訓練参加 新庄北 花畑を見る会で炊き出し	
	施設等奉仕作業 愛五 赤十字病院 18回 白菊 赤十字病院 58回 四方 ふるさとのあかり、一休庵 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 新庄 赤十字病院 27回 公民館清掃 安野屋 赤十字病院 14回 山室 赤十字病院 27回 新庄北 赤十字病院 33回	
	献血呼びかけ 蜷川 ファボーレ（大雪のため中止） 清水町 ファボーレ 1回 愛五 ファボーレ 1回 白菊 大阪屋ショップ呉羽店 2回 四方 アピタ富山東店 1回 新庄 ファボーレ 1回、アピタ富山東店 1回 安野屋 ファボーレ 1回 山室 ファボーレ 1回 新庄北 ファボーレ 1回	
	特記活動 蜷川 蜷川小学校（JRC）の授業で、赤十字・奉仕団・防災などについて講演 愛五 ひとり暮らし高齢者に不織布マスクを配布 白菊 交通安全マスコット作り 四方 四方小学校（JRC）とともにひとり暮らし高齢者訪問 四方小学校（JRC）の授業で、赤十字奉仕団などについて講演 新庄 ひとり暮らし高齢者への年賀状作り 山室 医療従事者への寄贈のためのラベンダースティック作り 新庄北 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施	

富山市大沢野分区	大沢野赤十字奉仕団 31名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 70人
	地域防災・救護活動 奉仕団で炊き出し研修会
	施設等奉仕作業 太陽苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

富山市大山分区	大山赤十字奉仕団 40名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 168人
	施設等奉仕作業 はなさき苑 花苗植え ルンビニ園 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

富山市八尾分区	八尾町赤十字奉仕団 156名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 230人
	地域防災・救護活動 PTA親子炊出し 行事救護所 (新型コロナウイルスの影響で活動休止) (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 のりみね苑、椿寿荘、野積園、八尾園 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 2回
	特記活動 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施

富山市婦中分区	婦中赤十字奉仕団 54名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 153人
	施設等奉仕作業 豊佳苑、富山病院 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 3回
	特記活動 ひとり暮らし高齢者に手作りマスク寄贈 婦中町防犯パトロール協力 婦中町ボランティアパネル作り

富山市山田分区	山田赤十字奉仕団 25名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 12人
	施設等奉仕作業 あざみ園 シーツ交換（19回）
	献血呼びかけ ファボーレ 1回
	特記活動 社会福祉協議会配食ボランティア協力 高齢者宅へ花鉢・弁当を持参し訪問 文化祭協力 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」をひとり暮らし高齢者に普及

富山市細入分区	細入赤十字奉仕団 36名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 12人
	施設等奉仕作業 細入まつり (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ ファボーレ 1回

高岡市地区

高岡市地区赤十字奉仕団	高岡南部丸美	吉久睦	伏木	中田	高岡中央	福岡町	立野	計 7 団	462名
-------------	--------	-----	----	----	------	-----	----	-------	------

ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数）

1,488人（高岡南部丸美55人、吉久睦35人、伏木251人、中田49人、高岡中央903人、福岡町175人、立野20人）

地域防災・救護活動

高岡南部丸美 カローリング大会で救護活動
伏木 伏木ふれあいの杜救護班協力 2 回
雨晴マリーナ救護所待機12日間
中田 だいで苑防災教室炊き出し活動

施設等奉仕作業

吉久睦 吉久デイサービス（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
伏木 ふしき苑で球根・花苗植込み 2 回
雨晴苑で除草作業 2 回、手作りマスクや肌着など寄贈
中田 長生寮、志貴野ホーム（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
福岡町 清楽園にバスタオルなどの縫製品（団員縫製）と飲料寄贈
アルテン赤丸の敬老会にティッシュと飲料寄贈
かごめ苑に果物と飲料寄贈
さくら苑（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
立野 香野苑（新型コロナウイルスの影響で活動休止）

献血呼びかけ

高岡南部丸美 イオンモール高岡 3 回
吉久睦 イオンモール高岡 3 回
伏木 イオンモール高岡 3 回、伏木コミュニティセンター 1 回
中田 イオンモール高岡 2 回
高岡中央 イオンモール高岡 2 回
福岡町 イオンモール高岡 2 回
立野 立野公民館 1 回

特記活動

高岡南部丸美 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施
伏木 ひとり暮らし高齢者との集い（新型コロナウイルスの影響で活動休止）
会報「帆ばしら」第50号、第51号発行
高岡中央 医療従事者に向けた感謝のお弁当箱事業への参加協力
福岡町 福岡小学校新入生に団員手作りの交通安全マスコット贈呈
ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施
立野 公民館清掃
ひとり暮らし高齢者に高岡市指定ゴミ袋を独自に配布

魚津市地区	魚津市赤十字奉仕団 89名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 806人
	地域防災・救護活動 市防災訓練 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 新川老人保健施設
	献血呼びかけ ありそドーム 1回

氷見市地区	氷見市地区赤十字奉仕団 朝日丘 十二町 窪 （東休団） 計4団 111名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 215人（朝日丘115人、十二町15人、窪85人）
	地域防災・救護活動 十二町 地区防災訓練に参加 ふれあいウォークラリーでコロナ禍における配食訓練と危険個所の探索 窪 奉仕団で炊き出し研修会
	施設等奉仕作業 十二町 十二町保育園に消毒用タオル、パイナップルの鉢植え寄贈 高齢者施設4か所（あおぞら、いちえ、はまなす、憩いの家）にポインセチア鉢植え寄贈
	献血呼びかけ ハッピータウン 朝日丘（1回） 窪（1回）
	特記活動 朝日丘 廃品回収（2回） 選挙での立会い協力 十二町 川尻バス停などで環境美化活動（育苗、花苗提供、花壇植栽） 窪 ひとり暮らし高齢者訪問でタオルを独自に配布

滑川市地区	滑川市赤十字奉仕団 75名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 170人
	施設等奉仕作業 清寿荘、カモメ荘 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ プラント3 2回
	特記活動 障がい者・家族レクリエーション大会に協力 自宅で寄贈のための縫製作業 ひとり暮らし高齢者訪問で滑川市指定ゴミ袋とマスクを独自に配布

黒部市地区	黒部市地区赤十字奉仕団 宇奈月 黒部市石田 計2団 49名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 204人
	地域防災・救護活動 黒部市石田 黒部市防災訓練 石田地区防災訓練 防犯パトロール
	施設等奉仕作業 黒部市石田 越之湖、黒部学園、越野荘、にいかわ総合支援学校 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	特記活動 黒部市石田 ラジオ・ミュー取材対応 石田公民館まつり協力

砺波市地区	砺波市地区赤十字奉仕団 砺波市 庄川町 計2団 401名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 267人（砺波市220人、庄川町47人）
	地域防災・救護活動 砺波市 南般若地区防災訓練 庄川町 砺波市防災訓練 庄川支所 主催防災訓練 砺波市防災担当による出前講座受講
	施設等奉仕作業 砺波市 やなげ苑にひなまつり訪問 総合病院ボランティア、麦秋苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 庄川町 ケアポート庄川 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ 砺波市 イオンモールとなみ 3回 庄川町 庄川支所 2回
	特記活動 砺波市 砺波市福祉健康大会協力 砺波市 ボランティアフェスティバル協力 キラキラミッションイルミネーション装飾 出町地区配食サービス協力 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施 庄川町 砺波市ボランティアフェスティバル協力 キラキラミッションイルミネーション装飾 ひとり暮らし高齢者に花鉢を独自に配布 公民館まつりに協力

小矢部市地区	小矢部市赤十字奉仕団 52名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 257人
	地域防災・救護活動 市防災訓練救急訓練、炊き出し訓練
	施設等奉仕作業 清楽園 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）
	献血呼びかけ 市役所 2回
	特記活動 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施

南 砺 市 地 区	南砺市地区赤十字奉仕団 福野 福光 井波 城端 井口 平 上平 利賀 計 8 団 348 名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 676人（福野161人、福光207人、井波120人、城端125人、井口12人、平31人、上平7人、利賀13人）
	地域防災・救護活動 福野 東部地区訓練で炊き出し 南砺市ゲートボール大会救護 南砺市カローリング大会救護 井波 老人クラブカローリング大会救護 高瀬地区防災訓練 南山見地区防災訓練 井波方面団・庄川方面団（消防団）防災訓練 平 防災講演会に参加
	施設等奉仕作業 福野 旅川デイサービス、福寿園 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 福光 やすらぎ荘 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 井波 いなみデイサービス、老人ホームいなみ、マーシ園 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 城端 となみ総合支援学校、特養きらら、老健うらら （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 井口 やすらぎ荘 2 回 花椿 2 回 井口デイサービスセンター 3 回
	献血呼びかけ 福光 福光庁舎 2 回
	特記活動 福野 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施 井波 ひとり暮らし高齢者にホッカイロを独自に配布 城端 城端別院周辺清掃 ひとり暮らし高齢者に南砺市指定ゴミ袋を独自に配布 平 高齢者配食に協力 上平 文化祭で活動パネル展示 ひとり暮らし高齢者にマスクを独自に配布 高齢者への年賀状発送 利賀バス停美化活動（花苗配布、水やり等） 高齢者サロン実施協力 高齢者配食サービス事業に協力 利賀地域作品展示発表会協力（炊き出し、広報活動） ひとり暮らし高齢者に熱中症予防啓発チラシと塩飴を独自に配布 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」普及活動

射水市地区	射水市地区赤十字奉仕団 下村 大江 大島 新湊中央（大門休団） 計5団 264名
	<p>ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 520人（下村12人、大江45人、大島43人、新湊中央420人）</p> <p>施設等奉仕作業 大江 大江苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 大島 いみず苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止） 新湊中央 いみず苑 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）</p> <p>献血呼びかけ 大江 アルプラザ小杉 2回</p> <p>特記活動 下村 廃品回収 2回 餅つき大会に参加 大江 小杉小学校児童（JRC）とともにひとり暮らし高齢者と父子家庭への手作り慰問弁当配布 大島 使用済み切手収集 ひとり暮らし高齢者に射水市指定ゴミ袋を独自に配布</p>
入善町分区分	入善町赤十字奉仕団 145名
	<p>ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 396人</p> <p>施設等奉仕作業 おあしす新川 （新型コロナウイルスの影響で活動休止）</p> <p>献血呼びかけ 町役場 1回</p> <p>特記活動 愛の声掛け訪問 使用済み切手・アルミ缶資源回収</p>

朝日町分区	朝日町赤十字奉仕団 170名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 300人
	地域防災・救護活動 町防災訓練 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	施設等奉仕作業 つるさんかめさん、有磯苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ アスカ 1回
	特記活動 地域見守り配食サービス事業（79歳以上317名に外注食を配食）

舟橋村分区	舟橋村赤十字奉仕団 52名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 20人
	施設等奉仕作業 デイサービスセンター (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	特記活動 ひとり暮らし高齢者訪問で、除菌用ウェットティッシュを配布 手作りマスク100枚を社会福祉協議会に寄贈

上市町分区	上市町赤十字奉仕団 35名
	地域防災・救護活動 奉仕団炊き出し研修会
	施設等奉仕作業 常楽園、四ツ葉苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 1回
	特記活動 上市高校生徒とNHK海外たすけあいの呼びかけ ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を使った研修を実施

立山町分区	立山町赤十字奉仕団 248名
	ひとり暮らし高齢者訪問活動（訪問人数） 340人
	地域防災・救護活動 災害救援ボランティア研修会参加
	施設等奉仕作業 雷鳥苑 (新型コロナウイルスの影響で活動休止)
	献血呼びかけ 町役場 1回
	特記活動 釜ヶ淵地区地域子育てサロンで幼児安全教室を主催 ガイド「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」をひとり暮らし高齢者に普及

資 料 Ⅱ

決算概要

(1) 令和2年度一般会計歳入歳出決算説明書

日本赤十字社富山県支部（単位：円）

歳 入							歳 出								
科目	当初予算 (千円)	補正・ 流用	予算現額 (千円)	決算額 (円)	予算比 (%)	前年比 (%)	備 考	科 目	当初予算 (千円)	補正・ 流用	予算現額 (千円)	決算額 (円)	予算比 (%)	前年比 (%)	備 考
1. 社 資 収 入	184,000	33,940	217,940	229,058,334	105.1	109.1		1. 災害救護事業費	15,288	707	15,995	15,397,491	96.3	80.8	
(1) 一般社資収入	166,000	29,474	195,474	199,781,809	102.2	106.7	指定寄付 病 院 39,210千円 乳児院 264千円	(1) 災 害 救 護 指 導 事 業 費	8,191	0	8,191	7,604,269	92.8	90.8	業務用無線整備費 2,860千円 大型サーキュレーター 951千円
(2) 法人社資収入	18,000	4,466	22,466	29,276,525	130.3	129.1		(2) 災害救護整備費	5,738	707	6,445	6,444,872	100.0	73.3	
2. 委託金等収入	1,248	0	1,248	2,795,015	224.0	135.0	県物資備蓄倉庫等管理 業務委託金 1,512千円 令和元年台風第19号 災害救護活動に伴う経費 1,283千円	(3) 救 護 看 護 師 指 導 養 成 費	1,359	0	1,359	1,348,350	99.2	71.8	
(1) 委託金等収入	1,248	0	1,248	2,795,015	224.0	135.0		2. 社会活動費	36,512	0	36,512	28,514,604	78.1	83.0	
3. 補助金及び 交付金収入	733	0	733	3,723,536	508.0	45.8		(1) 救急法等普及費	8,630	0	8,630	6,240,936	72.3	80.0	
(1) 補助金収入	0	0	0	0	—	—	施設整備交付金 3,723千円	(2) 奉仕団活動費	10,846	0	10,846	9,499,957	87.6	90.7	
(2) 本社交付金収入	733	0	733	3,723,536	508.0	45.8		(3) 青少年赤十字 活 動 費	9,356	0	9,356	6,401,571	68.4	70.6	
4. 繰入金収入	0	0	0	0	—	—		(4) 社会福祉活動費	6,180	0	6,180	4,936,790	79.9	88.1	
(1) 資金繰入金収入	0	0	0	0	—	—		(5) 医 療 事 業 費	1,000	0	1,000	1,000,000	100.0	100.0	
(2) 事業準備積立金 繰入金収入	0	0	0	0	—	—		(6) 血 液 事 業 費	500	0	500	435,350	87.1	109.2	
5. 雑 収 入	1,492	0	1,492	529,077	35.5	33.7		3. 国際活動費	1,300	0	1,300	1,300,000	100.0	98.1	
(1) 利子収入	1	0	1	238	23.8	59.9	救急法等講習負担金	4. 指定事業地方振興費	0	0	0	0	—	—	
(2) 負担金収入	1,426	0	1,426	119,676	8.4	10.9		5. 地区区分交付金支出	25,629	0	25,629	24,246,669	94.6	100.2	
(3) 雑 収 入	65	0	65	409,163	629.5	86.2		6. 社 業 振 興 費	29,684	0	29,684	27,024,389	91.0	83.0	
6. 前年度繰越金	28,000	0	28,000	34,822,277	124.4	102.1		(1) 社 業 振 興 費	15,316	0	15,316	13,183,308	86.1	65.6	
(1) 前年度繰越金	28,000	0	28,000	34,822,277	124.4	102.1		(2) 広 報 活 動 費	14,368	0	14,368	13,841,081	96.3	110.9	
								7. 基盤整備交付金・ 補 助 金 支 出	10,000	29,474	39,474	39,473,576	100.0	204.7	
								8. 積 立 金 支 出	25,474	0	25,474	25,194,837	98.9	115.8	
								(1) 資金積立金支出	19,464	0	19,464	19,464,000	100.0	122.2	施設整備準備資金 19,464千円
								(2) 退職給与資金特別 会計積立金支出	6,010	0	6,010	5,730,837	95.4	98.5	
								9. 総 務 管 理 費	37,543	0	37,543	34,360,110	91.5	98.3	
								(1) 評議員会等諸費	600	0	600	0	0.0	0.0	
								(2) 総 務 管 理 費	36,468	0	36,468	33,892,150	92.9	100.3	
								(3) 監 査 費	475	0	475	467,960	98.5	71.3	
								10. 資産取得及び 資 産 管 理 費	4,148	0	4,148	4,122,633	99.4	159.4	全社統合情報システム参 加にかかる費用1,419千円
								11. 本社送納金支出	26,895	6,759	33,654	33,653,750	100.0	108.7	
								12. 予 備 費	3,000	−3,000	0	0	—	—	
歳 入 合 計	215,473	33,940	249,413	270,928,239	108.6	111.5		歳 出 合 計	215,473	33,940	249,413	233,288,059	93.5	111.7	

歳入決算額 270,928,239円 − 歳出決算額 233,288,059円 = 歳入歳出差引残高 37,640,180円

(2) 令和2年度医療施設特別会計決算説明書

1. 収益的収入及び支出

富山赤十字病院（単位：円）

収入科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)	支出科目	予算現額	決算額	予算対比 (%)	前年度比 (%)
1. 医 業 収 益	12,095,261,000	10,815,147,217	89.4	95.4	1. 医 業 費 用	12,155,633,000	11,018,199,617	90.6	95.9
(1) 入 院 診 療 収 益	8,438,800,000	7,600,184,569	90.1	97.0	(1) 材 料 費	3,489,523,000	3,119,622,599	89.4	93.7
(2) 室 料 差 額 収 益	125,000,000	109,867,000	87.9	91.1	(2) 給 与 費	6,059,762,000	5,446,113,206	89.9	94.4
(3) 外 来 診 療 収 益	3,049,200,000	2,694,485,269	88.4	92.9	(3) 委 託 費	799,371,000	815,934,360	102.1	102.5
(4) 保 健 予 防 活 動 収 益	409,128,000	342,428,425	83.7	83.2	(4) 設 備 関 係 費	539,423,000	428,664,449	79.5	102.0
(5) そ の 他 の 医 業 収 益	86,000,000	79,630,655	92.6	94.9	(5) 研 究 研 修 費	38,413,000	16,609,166	43.2	48.6
(6) 保 険 等 査 定 減	-12,867,000	-11,448,701	89.0	74.5	(6) 経 費	511,903,000	459,575,870	89.8	102.8
					(7) 減 価 償 却 費	717,238,000	731,679,967	102.0	105.8
2. 医 業 外 収 益	185,518,000	516,722,752	278.5	281.8	2. 医 業 外 費 用	22,500,000	21,886,782	97.3	111.8
(1) 受 取 利 息	3,595,000	3,394,786	94.4	90.7	(1) 支 払 利 息	649,000	646,414	99.6	71.9
(2) 運 営 費 補 助 金 等 収 益	28,814,000	296,848,977	1030.2	1042.2	(2) 看 護 師 等 委 託 養 成 費	5,800,000	3,200,000	55.2	66.7
(3) 施 設 設 備 補 助 金 等 収 益	61,635,000	141,113,608	229.0	239.9	(3) そ の 他 医 業 外 費 用	16,051,000	18,040,368	112.4	130.0
(4) そ の 他 の 医 業 外 収 益	91,474,000	75,365,381	82.4	81.6					
3. 医 療 社 会 事 業 収 益	400,000	32,200	8.1	11.4	3. 医 療 奉 仕 費 用	19,317,000	14,885,557	77.1	80.2
(1) 医 療 社 会 運 営 費 補 助 金 等 収 益	400,000	32,200	8.1	11.4	(1) 医 療 社 会 事 業 費	19,210,000	14,874,420	77.4	80.4
					(2) 社 会 活 動 費	107,000	11,137	10.4	18.2
4. 付 帯 事 業 収 益	116,943,000	115,153,100	98.5	87.5	4. 付 帯 事 業 費 用	229,656,000	201,428,634	87.7	91.5
(1) 看 護 専 門 学 校 収 益	16,474,000	13,960,648	84.7	45.3	(1) 看 護 専 門 学 校 費	120,028,000	101,146,631	84.3	91.9
(2) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	73,103,000	73,608,587	100.7	102.6	(2) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	75,992,000	73,551,836	96.8	97.8
(3) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 収 益	22,400,000	22,685,236	101.3	95.7	(3) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 費	23,292,000	21,752,083	93.4	83.1
(4) ケ ア プ ラ ン 事 業 所 収 益	4,966,000	4,898,629	98.6	93.5	(4) ケ ア プ ラ ン 事 業 費	10,344,000	4,978,084	48.1	56.7
5. 特 別 利 益	0	3,280,315	-		5. 特 別 損 失	20,000,000	12,743,353	63.7	245.0
(1) そ の 他 特 別 利 益	0	3,280,315	-		(1) 固 定 資 産 除 去 損	20,000,000	12,743,353	63.7	245.0
					(2) そ の 他 特 別 損 失	0	0	-	
					6. 法 人 税 等	4,396,000	1,115,192	25.4	48.5
					7. 予 備 費	9,000,000	0	-	
収益的収入合計	12,398,122,000	11,450,335,584	92.4	98.3	収益的支出合計	12,460,502,000	11,270,259,135	90.4	95.9

2. 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	前年度繰越 事業費充当額	予算額に比し 増減	内 訳
病 院 収 益	707,399,000	620,800,553	0	86,598,447	
1 固 定 負 債	159,400,000	141,544,880		17,855,120	
					1 固 定 負 債 141,544,880
					(1) 借 入 金 0
					(2) リース未払金 0
					(3) 長期前受補助金等 141,544,880
					(4) その他固定負債 0
2 資産売却収入	0	0		0	
					2 資 産 売 却 収 入 0
					(1) 資 産 売 却 収 入 0
3 その他資本収入	547,999,000	479,255,673		68,743,327	
					3 そ の 他 資 本 収 入 479,255,673
					(1) 補 助 金 等 0
					(2) その他資本収入 479,255,673
資 本 的 収 入 合 計	707,399,000	620,800,553	0	86,598,447	

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	内 訳
病 院 費	707,399,000	620,800,553	12,364,000	98,962,447	
1 固 定 資 産	701,690,000	615,091,982	12,364,000	98,962,018	
					1 固 定 資 産 615,091,982
					(1) 有形固定資産 615,091,982
					(2) 無形固定資産 0
2 借入金等償還	5,709,000	5,708,571		429	
					2 借 入 金 等 償 還 5,708,571
					(1) 借 入 金 等 償 還 0
					(2) リース未払金支払 5,708,571
					(3) その他負債返済 0
資 本 的 支 出 合 計	707,399,000	620,800,553	12,364,000	98,962,447	

(3) 令和２年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算説明書

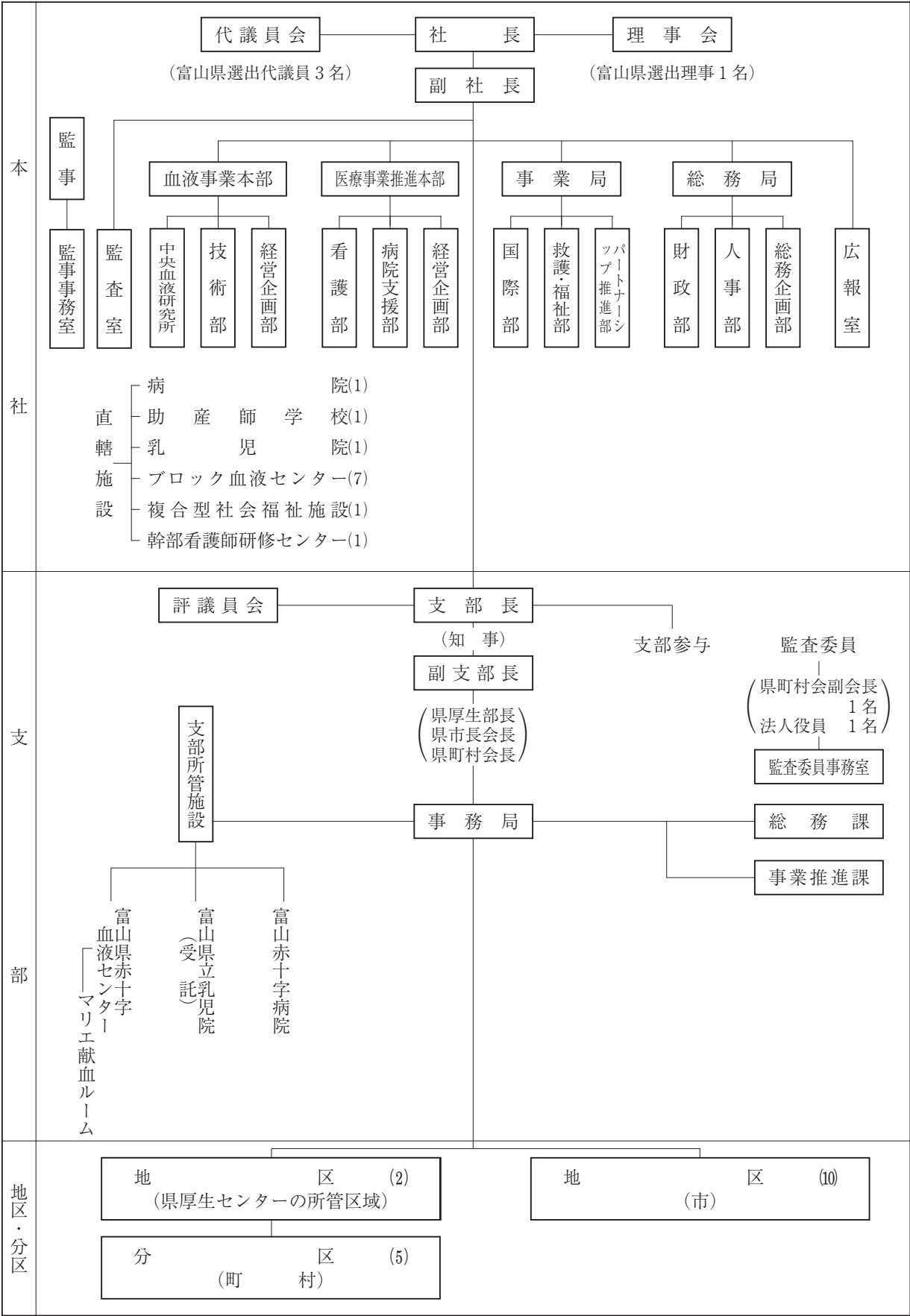
富山県立乳児院（単位：円）

収 入 の 部	予算現額	決算額	予算対比	前年度比	支 出 の 部	予算現額	決算額	予算対比	前年度比
事業活動による収入	169,887,000	175,414,583	103.3%	102.9%	事業活動による支出	190,769,000	158,332,267	83.0%	90.0%
児童福祉事業収入	169,007,000	174,381,880	103.2%	104.0%	人件費支出	162,550,000	134,026,257	82.5%	86.1%
受託事業収入	155,137,000	161,917,950	104.4%	104.1%	職員給料支出	63,416,000	63,335,107	99.9%	107.8%
乳児院事業収入（県）	149,342,000	152,450,750	102.1%	101.9%	職員賞与支出	19,238,000	18,599,649	96.7%	104.2%
里親支援機関事業収入（県）	5,295,000	8,504,000	160.6%	160.6%	非常勤職員給与支出	34,912,000	30,795,307	88.2%	99.3%
短期入所生活援助事業 （富山市、射水市ショートステイ事業）	500,000	963,200	192.6%	165.4%	退職給付支出	23,500,000	0	—	—
補助金事業収入	13,870,000	12,463,930	89.9%	102.9%	法定福利費支出	21,484,000	21,296,194	99.1%	106.6%
病児・病後児保育補助金事業収入（富山市）	12,670,000	11,527,000	91.0%	102.3%	事業費支出	15,442,000	11,880,650	76.9%	106.8%
病児・病後児保育利用者等収入	1,200,000	171,000	14.3%	20.1%	給食費支出	4,896,000	2,309,595	47.2%	86.2%
新型コロナウイルス感染 拡大防止対策事業等収入	0	765,930	—	—	保健衛生費支出	1,150,000	1,131,724	98.4%	122.3%
経常経費寄附金収入	300,000	974,872	325.0%	119.1%	被服費支出	145,000	95,267	65.7%	221.2%
経常経費寄附金収入	300,000	974,872	325.0%	119.1%	教養娯楽費支出	341,000	232,923	68.3%	77.2%
受取利息配当金収入	30,000	12,831	42.8%	17.3%	水道光熱費支出	4,990,000	4,231,675	84.8%	101.3%
受取利息配当金収入	30,000	12,831	42.8%	17.3%	消耗器具備品費支出	2,775,000	2,744,193	98.9%	146.9%
その他の収入	550,000	45,000	8.2%	2.3%	賃借料支出	785,000	782,376	99.7%	115.3%
受入研修費収入	150,000	45,000	30.0%	51.1%	雑支出	360,000	352,897	98.0%	78.4%
雑収入	400,000	0	—	—	事務費支出	12,777,000	12,425,360	97.25%	134.6%
施設設備等による収入	0	0	—	—	福利厚生費支出	1,270,000	1,256,412	98.9%	113.3%
					職員被服費支出	50,000	46,144	92.3%	561.6%
その他の活動による収入	27,365,000	7,445,472	27.2%	26.2%	旅費交通費支出	176,000	146,155	83.0%	31.8%
他会計繰入金収入	7,365,000	7,445,472	101.1%	234.1%	研修研究費支出	220,000	98,022	44.6%	14.9%
一般会計繰入金収入	3,865,000	7,445,472	192.6%	1729.5%	事務消耗品費支出	1,072,000	1,071,396	99.9%	262.6%
医療施設特別会計繰入金収入	3,500,000	0	—	—	印刷製本費支出	180,000	132,050	73.4%	127.6%
その他の活動による収入	20,000,000	0	—	—	水道光熱費支出	468,000	467,293	99.8%	109.1%
その他の収入	20,000,000	0	—	—	修繕費支出	2,965,000	2,963,840	100.0%	2334.7%
収入合計額	197,252,000	182,860,055	92.7%	91.9%	通信運搬費支出	569,000	560,761	98.6%	101.1%
					会議費支出	25,000	3,133	12.5%	51.6%
					広報費支出	610,000	609,400	99.9%	101.3%
					業務委託費支出	3,342,226	3,250,422	97.3%	135.8%
					手数料支出	146,774	146,025	99.5%	126.3%
					保険料支出	200,000	194,400	97.2%	98.8%
					賃借料支出	234,000	233,008	99.6%	100.1%
					租税公課支出	362,000	361,771	99.9%	156.2%
					保守料支出	705,000	704,310	99.9%	110.8%
					雑支出	182,000	180,818	99.4%	18.9%
					施設設備等による支出	0	0	—	—
					その他の活動による支出	6,483,000	6,216,996	95.9%	129.7%
					その他の活動による支出	6,483,000	6,216,996	95.9%	129.7%
					その他の支出	6,483,000	6,216,996	95.9%	129.7%
					支出合計額	197,252,000	164,549,263	83.4%	90.9%

当期収入決算額182,860,055円－当期支出決算額164,549,263円 ＝ 18,310,792円

日本赤十字社富山県支部の関係組織図

令和3年4月1日現在



※富山赤十字看護専門学校は、令和3年3月31日をもって閉校となりました。